

ハ同人備入レノ巡視ト称スル私設警察官ノ如キモノ（巡視ハ目下廃止致居候）ヲ用ユル等実力ヲ以テ同人ノ主張貫徹ヲ図ルカ如キコトアラハ断シテ当館ニ於テ黙視セサル旨申聞置候

柳原ノ態度少シク温順トナリ来レルカ如キモ右ハ正金銀行ニ対スル金融談ノ關係上本官ヨリ口添ヲ得ルノ必要アルカ為メト認メラレ候尚ホ支那側ニ於テ飽ク迄同人ノ權利ヲ買収セントスル場合ニ於ケル同人ノ意思如何ヲ探リタルニ余程自家ニ都合ヨキコトヲ考ヘ居リ示談ヲ以テハ解決行ハレ難カルヘク結局同人ヲシテ現在ノ事業ヲ繼續セシムルコト

ト可相成ト思考セラルル処同人ノ性格動モスレハ徒ラニ他ノ感情ヲ害シ大局ニ悪影響ヲ来スコトヲ意トセサルハ依然トシテ変化無キ状態ニ有之候条此上同人ニ於テ滯奉ノ上農場経営ニ従事スルコトハ望シカラスト認メラルルモ同人ニシテ当方ノ説諭ニ服セス当方面ニ在リテ大局ノ妨害ヲ為ス場合ニハ職權上許サレタル方法ヲ以テ之ヲ制裁スルノ途ニ出ツルコトモ亦止ムヲ得サル義ト存申候条本件成行稟報旁々右為念得貴意置度此段及稟申候 敬具

事項六 中国輸入税率改正一件

一八三 一月十六日

在中国山座公使ヨリ
牧野外務大臣宛（電報）

中国輸入税率改正ハ条件ヲ附シ承諾スルヲ可

トスル旨意見稟申ノ件

第四九号

貴電第六八〇号ニ関シ条約論トシテハ帝国ハ一九一六年迄ハ関税率改正ノ請求ニ応スルノ義務ナキカ如キモ公平ナル見地ヨリ云ヘハ支那側ノ希望ハ寔ニ無理ナラヌ次第ニシテ恐ラク爾余ノ列国ハ条約上義務ノ有無ヲ問ハス何レモ（条件附又ハ無条件ニテ）之ニ同意スヘシト思ハルル処帝国政府ノミカ条約ニ反シタルヲ楯ニ取リテ飽迄之ヲ拒絶シ其結果列国ノ承諾ヲモ一九一六年迄事實上無効ニ終ラシムル如キコトハ世界ニ対スル帝国ノ地位ニ鑑ミ甚タ不得策ナルノミナラス惹テ支那官民ノ惡感ヲ挑発シ我貿易ニ対シ根強キ反抗ヲ招クヘク為ニ我商工業ニ蒙ムルヘキ打撃ハ到底関税率改正等ノ比ニアラサルヘク政事上ノ不利益ニ至リテハ申迄モナキコトナレハ帝国政府トシテハ或ル条件ノ下ニ同意

ヲ与フルノ外ナカルヘシト思料ス

其条件ハ(a)改正ニ依リテ我商工業ノ蒙ムルヘキ打撃ヲ減少シ若クハ(b)我對支貿易ノ發展ニ利益アルモノタルヲ要ス之ニ関シテハ我当局者ニ於テ自ラ考案アルヘキモ本使ノ思付トシテハ(c)日清追加通商航海条約第五条ノ商標等ニ関スル規定ノ実行(d)支那内国製造品ニ対スル課税ノ増率(e)税率表(クラシフィケーション)ノ改正(f)現行ノ不法課税矯正等ナリ

(一)ハ支那ノ現在及将来ノ工業カ最モ模倣シ易キ程度ニアル商品輸入者タル日本カ最モ多ク利益ヲ享有スヘキハ勿論ナレドモ欧米各国モ亦其利益ニ均霑スヘキニ付其賛同ヲ支持シ得ヘク(二)ハ或ル程度迄(例ヘハ「マツケー」条約第八条第九節ノ比例ヲ準用シ即チ改正従量税ノ十二分ノ十二達スル迄)支那内国製造品ニ対スル課税率ヲ引上ケシムルコトハ頗ル困難ナル要求トハ思ハルレトモ必スシモ不当ニアラサルヘク(三)ハ各国利害同シカラサルヲ以テ是亦余程困難ナルヘキモ或ル程度迄ハ我ニ有利ナル様ニ「クラシフィケー

六 中国輸入税率改正一件 一八四 一八五

「シヨ」ヲ改メシメ得ヘク(四)ニ至リテハ現在ニ於テモ其不当ヲ責ムルニ差支ナキモ實際我主張通りニ行ハレ居ラサルコト過般御訓示ニ依リ各地領事ヨリ提出セル報告ノ如クナレハ此機会ニ於テ一括矯正スルコトニハ列国亦賛同スヘシト思ハル

尚研究ノ上更ニ意見ヲ開陳スルコトアルヘキモ不取敢右稟申ス

註 日本外交文書大正二年第二冊八二九文書

一八四 一月十七日

牧野外務大臣ヨリ
在中国山座公使宛(電報)

中国輸入税率改正提議承諾ノ場合附スベキ条

件ニ付詳細意見提示方訓令ノ件

第三四号

貴電第四九号ノ件ハ目下当方ニ於テ慎重審議中ニ属シ拒否未タ決定ニ至ラサルモ若シ之ヲ応諾スルモノトセバ相当ノ条件ヲ附スルヲ適當ト認メ為念關係官庁ノ当局トモ打合せツ、アリ就テハ当方参考ノ為メ貴電中ノ条件ニツキ尚御研究ノ上更ニ詳細御意見電報アレ

正式來文均允照辦諒

貴國政府顧念中日睦誼亦必樂於推誠贊助相應照會貴公

使查照並希從速見復以便早日商辦此事是所感盼須至照

會者

右 照 會

大日本國欽命駐華全權公使山座

中華民國參年一月十七日

(右和訳文)

査スルニ現行通商進口税則ハ已ニ十年ノ期限ニ達シタルニ相当時期ニ於テ右税則ノ修改ニ着手シ度件ニ就テハ民国元年八月十四日及二年十月十四日附ヲ以テ迭次本部ヨリ該税則ニ調印セル各国公使宛及照會置キタル処ニ有之爾後北米合衆国英吉利白耳義和蘭等ノ各国公使ヨリハ順次正式ノ公文ヲ以テ均シク承諾ノ旨ヲ通知シ来リ候処貴國政府ハ中日ノ睦誼ヲ顧念セラレ又必ス推誠贊助ヲ希望セラル、コトト諒察スル次第ニ付此旨貴公使ニ照會シ查照ヲ請ヒ並ヒニ速ニ回答ヲ与ヘラレ以テ早日本件ノ商辦ヲナシ得ルニ至ル様不堪切望候云々

一八五 一月十九日

在中国山座公使ヨリ
牧野外務大臣宛

中国輸入税率改正提議ニ対シ米國英國等同意セルニ付日本政府モ速ニ回答セラレタキ旨ノ

外交部照會写送付ノ件

附屬書

一月十七日附孫外交總長ヨリ山座公使宛右照會写及訳文

機密第二三三号

本件ニ関シテハ昨十八日發往電第五五号ヲ以テ外交部照會ノ大要及電報置候処右写並ニ訳文以別紙及御送附候条御査閱相成度此段申進候也

(附屬書)

一月十七日附孫外交總長ヨリ山座公使宛照會

寫及譯文

外 交 總 長 孫

爲

照會事案査現行通商進口税則已屆十年期滿應行及時修改一事迭經本部於民國元年八月十四日二年十月十四日照會曾經簽字於該税則之

各國駐京公使在案茲准美國英國比國和國駐京公使先後

一八六 一月二十七日

高橋大藏大臣ヨリ
牧野外務大臣宛

中国ノ輸入税改修提議ニ対シ大藏省ヨリ消極

的意見回示ノ件

往第六六〇号

(一月二十八日接受)

大正三年一月廿七日

大藏大臣男爵 高 橋 是 清(印)

外務大臣男爵 牧野伸顯殿

支那政府ヨリノ関稅改修提議ニ関シ帝國政府ノ態度ヲ定ムル必要上本省ノ大体ノ意見回示スヘキ旨御照會ノ趣了承對支貿易カ吾邦ニトリテ頗重大ナル關係アリ此点ニ於テ我邦ハ他ノ諸國ト頗其ノ事情ヲ異ニスルハ申迄モナキ儀ニ有之支那政府ノ提議ハ吾對支輸出貿易ニ甚大ナル影響ヲ及ホスヘク且本邦ハ之ニ對シ何等條約上ノ拘束ヲ有セス又之ニヨリテ利益スルコトナキモノニ付支那政府ノ提議ニ応セサル方利益ナリト存候乍然關係諸國カ一般ニ之ヲ認諾シ帝國独リ之ニ反對スルヲ得サル事情有之候場合ニ於テハ或ハ主義ニ於テ彼ノ提議ヲ認容スルハ不得已儀ニ可有之モ此場合ニ於テモ吾貿易關係ニ及ホスヘキ利害ノ重大ナルコトニ鑑ミ

之ニ対シテ適當ノ措置ヲ講セラルルノ必要可有之ト存候此
段及回答候也

一八七 一月二十七日

在上海有吉總領事ヨリ
牧野外務大臣宛

中国ノ関稅改修問題ニ関スル「チャイナ、プ
レス」論調報告ノ件

公信第三八号

(二月四日接受)

大正三年一月二十七日

在上海

總領事 有 吉 明(印)

外務大臣男爵 牧野伸顯殿

米国人「ミラード」ノ主宰スル「チャイナ、プレス」ハ本
件ニ関シ去ル二十五日ノ紙上ニ於テ大要如左論シ候
今回英、米、白及蘭ノ四ヶ国カ現行関稅ヲ現實五分ニ改
修セントスル支那側ノ提議ヲ承認シタリトノ報道ハ定メ
テ支那政府ノ大ニ歡迎セル処ナルヘク殊ニ英、米二国カ
右改修ノ主義ニ同意ヲ表シタルハ頗ル重要事ニ属シ未タ
何等ノ回答ヲモナササル諸国ニ対シ商議開始上一層有力
ナル論拠ヲ支那側ニ附与セルモノト云フヘシ

スル処トナレリト假定セハ一ヶ年約八百万兩ノ增收ヲ得
ルモノト見テ大過ナカラン歟而シテ此增收ヲ引当テニ必
要ノ場合ニハ一千万磅若クハ其以上ノ起債ヲ為スコト容
易ナルヘキヲ以テ独リ此事實ニ徴スルモ本問題ノ解決ニ
全力ヲ注クハ支那政府ニ取リ蓋シ無益ノ業ニアラサルヘ
シ

畢竟本問題ノ主眼ハ一方確實ニ国庫ノ收入ノ増加ヲ計ル
ト共ニ斯クシテ得タル資金力途中何等ノ減縮ナク総テ中
央政府ノ所要ニ充テラレ得ヘキコト是レナリ

本問題ノ前途ヲ予想スルニ元来列国ハ支那ノ財政整理ニ
関シ中央政府ヲ援助スルノ政策ニ同意シタルモノナルカ
故ニ抵当タリ得ル歳入ノ増加ヲ計ルヘキ何等計画ハ当然
其歡迎ヲ受クルモノト看ルヲ得ヘク中央政府ノ歳入増加
ハ大總統及幕僚ノ權勢ヲ鞏固ニスルモノニシテ是ハ列国
ノ希望ニ合致スルモノト云フヘシ而シテ最モ勢力アル英
米二国カ既ニ快答ヲ与ヘタルヲ見ルモ他ノ条約国ニ於テ
モ結局同一ノ態度ニ出ツヘク予期スルモ敢テ不当ニアラ
サルヘシ

右及報告候 敬具

支那政府ノ提議ニ関シテハ未タ具体的ノモノ發表セラレ
スト雖トモ若シ各条約国カ現行輸入税率ヲ市価ノ五歩ニ
改修スルコトニ同意スルニ於テハ支那ノ歳入ハ依之以テ
大ニ増加スルニ至ルヘシ

未タ本問題ノ内容判然セサルノ時ニ當リ関稅ノ修整ニヨ
リ果シテ幾何ノ增收ヲ得ルヤヲ予測セントスルハ勿論早
計タルヲ免レスト雖トモ千九百十二年ノ貿易年報ヲ参照
セハ其概念ヲ得ルニ難カラス則チ同年ノ総輸入額ハ四億
八千三百七十二万六千八百八十海關兩ニシテ之ニ対スル関稅
額ハ一千六百四万五千二百二海關兩ニ上リ其割合ハ課稅
價格ノ約三分三厘ニ相当ス若シ之ニ五歩ヲ課シタリトセ
ンカ其ノ稅額ハ二千四百二十八万六千三百四海關兩ニ達
シ差引八百二十四万千百二海關兩ノ差増ヲ見ルヘシ尚ホ
千九百十三年ノ貿易ハ千九百十二年ニ超越シ將來益々發
展スヘク期待セラルルヲ以テ関稅收入ノ増加ハ蓋シ尠少
ニアラサルヘシ是ハ固ヨリ極メテ大体ノ予想額ヲ示セル
モノナルカ現行稅目中ノ或ルモノハ五歩以上ニアリ仮令
ハ阿片ノ如キハ禁止的重稅ヲ課セラレ居リ一方ニハ遙カ
ニ五歩以下ノモノモアルカ故ニ支那ノ提議カ各国ノ認容

写送付先 北京公使

一八八 二月四日

牧野外務大臣ヨリ
在中国山座公使宛

中国ノ現實五分稅ノ實施力我對中国貿易ニ及
ボス影響等ニ関シ調査ノ結果通報ノ件

附屬書一

中国関稅改修問題ニ関スル外務・大藏・農商
務三省係官會議錄

二

中国関稅現實五分改修カ本邦重要輸出品ニ及
ボス影響ニ関スル調査

三

関稅改修ニ關聯シ考慮ヲ必要ト認メタル各種
事項ニ関スル調査

通機密送第二八号

本件ニ関シ外務、大藏、農商務三省委員間ニ於テ現實五分
稅カ實際我對支貿易ニ如何ナル影響ヲ及ボスヤノ事實ヲ調
査中ナル次第ハ客年十二月廿四日發往電第六八〇号ヲ以テ
申進置候通りニ有之候処右會議ハ客月二十六日ヲ以テ結了
致候ニ付不取敢別紙第一号議事ノ經過并ニ別紙第二、三号
會議ノ結果茲ニ及御送附候尚ホ右ノ調査ニ基キ本件ニ関ス
ル政府ノ態度ヲ決定スルタメ目下手續進行中ニ有之決定前
更ニ何分可申進候也

(附屬書一)

別紙第一号

支那関税改修問題ニ関スル會議錄

大正二年十二月十六日外務省ヨリ農商務及大藏兩省ニ協議ノ上曩ニ支那ヨリ提議ニ係ル関税改修カ我對支輸出品ニ及ホス影響ニ関シ調査研究ヲナスノ目的ヲ以テ右三省ヨリ係官ヲ出シ會議ヲ開クコトトシ其第一回ヲ同月十八日外務省ニ於テ開クコトニ定メタリ

第一回會議

大正二年十二月十八日午後三時ヨリ外務省通商局ニ於テ開催出席者九名

大藏省側

神 鞭 書 記 官

坂 口 鑑 査 官

農商務省側

鶴 見 書 記 官

小 西 技 師

野 間 技 師

成 瀬 属

外務省側

坂 田 通 商 局 長

松 原 書 記 官

大藏省側

野 間 技 師

神 鞭 書 記 官

坂 口 鑑 査 官

外務省側

松 原 書 記 官

青 木 領 事

一、農商務省及大藏省側委員ヨリ提出アリタル綿糸ニ関スル調査書(別紙第一、二、三号)ニ関シ各委員間ニ質問応答アリタリ

二、現実五分税カ我紡績業ニ及ホスヘキ影響ニ関シ本邦当業者タル各会社ノ損害程度ヲ農商務省委員ニ於テ更ニ精査ノ上次回ノ會議ニ報告スルコトナリタリ

三、次回ノ會議ハ一月十三日(火)トシ綿糸ニ関スル攻究以外我對支重要輸出品中可成丈多クノ品目ニ付キ研究ヲ為スコトトセリ

第三回會議

大正三年一月十三日(火)午後一時半外務省ニ於テ開會同五時四十分散会出席者前回ノ通り

(一) 先ツ農商務省委員ヨリ提出アリタル別冊調査書第四、五号(其内第四号ハ前回ノ決議ニ基キ提出アリタルモノニ

青 木 領 事

坂田通商局長ハ支那関税改修問題ニ對スル我政府ノ態度ヲ定ムル必要上其基礎ヲ作ル為メ右改修カ果シテ我對支貿易上如何ナル影響ヲ及ホスヤノ事實的研究ヲ為スヲ以テ本會議ノ目的トシ調査ヲ進メタキ旨ヲ述ヘ尚ホ會議ノ方法ニ付各委員ト協議ノ上左ノ通り決定セリ

一、外務大藏農商務側ヨリソレソレ委員ヲ出スコト

二、毎週一回火曜午後一時半ヨリ当省ニ於テ會議ヲ開クコト但シ臨時ノ必要ニヨリ多少變更アルヘキコト

三、予メ調査項目ヲ定メ各省調査ノ結果ハ可成次回ノ會議前ニ互ニ示シ合フコト

四、次回ハ綿糸ニ関スル研究ヲ遂クルコト

午後四時半散会

第二回會議

十二月二十三日(火)午後一時半外務省ニ於テ開會同四時半散会

出席者

農商務省側

鶴 見 書 記 官

小 西 技 師

シテ各会社損害程度ヲ示スモノナリ)並ニ大藏省委員ヨリ提出アリタル第六及ヒ第七号ニ関シ兩省委員ヨリ説明アリタリ

(一) 前回ニ引続キ綿糸ニツキ調査ノ上左ノ結果ヲ得タリ

仮ニ支那貿易統計ニ現レタル綿糸ノ平均價格(一担二十六兩八匁)ヲ標準トスレハ一捆ニツキ一円七十五錢ノ増税トナリ之ヲ大正元年ノ輸出額ニ乘スレハ吾國紡績業者ノ負担

増加ハ一ケ年平均約五十万円トナルヘク(大正二年ノ輸出数量ニヨレハ負担増加額ハ実ニ八十万円ニ上ルヘシ)紡績

業全体ノ利益高ヨリ見レハ其一部分ニ過キサカ如キモ支那向輸出ヲ主トスル業者ハ大打撃ヲ受クヘシ仮ニ此種ノ

会社ニ於テ其負担増加額丈配当金ヲ減スルモノトスレハ商況不振ノ時期ニハ配当年率ノ四五割ヲ減シ好況ノ時ニ於テ

モ二三割方減少スル計算ナリ要スルニ本品カ支那ニ於ケル将来ノ發展ヨリ見レハ現実五分トナルハ由々シキ大事ニシ

テ近來勃興シツアル支那紡績業トノ競争上本品ノ受クル打撃甚大ナルニヨリ若シ之ヲ無條件ニテ現実五分ニ改修ス

ルニ於テハ本品ノ前途頗ル悲觀スヘキモノアリ

(二) 農商務省委員ヨリ支那関税現実五分ニ改修ノ結果ニ関

シ我輸出品ヲ左ノ三種ニ分チ其影響調査ヲ次回迄ニ提出スルコトナリタリ

一、改修ノ影響甚大ナルモノ

二、改修ノ影響多少アルモノ

三、改修ノ影響殆ントナキモノ

(四) 大蔵省委員ハ本邦品ニ対スル関税改修直接ノ影響ヨリモ支那製品ノ勃興ニヨル間接打撃ノ最モ恐ルヘキ所以ヲ述ヘ次回迄ニ我重要輸出品ニ対スル打撃殊ニ支那品ノ競争事情等取調ノ上提出アルコトナレリ

次回ハ本月二十日午後一時開会ノコトシテ散会セリ

第四回會議

一月二十日午後一時半外務省ニ於テ開会同六時閉会出席者前回ノ通り

大蔵省委員ヨリ提出アリタル別冊調査書第八号及農商務委員ヨリ提出アリタル別冊調査書第九号ニ関シ説明及討議アリ右ノ調査書ニ基キ関税改修カ我重要輸出品ニ及ホス影響ニ関シ各品目ニ就キ逐一討議ヲ為シタル上其結果ヲ更ニ次回ノ會議迄ニ取纏メ査定スルコトナシタリ(從テ右討議ノ結果委細ハ茲ニ省略ス)

次ニ関税改修カ我對支貿易ニ及ホス影響ヲ緩和輕減スル為メ必要ト認ムル二三ノ措置ニ関シ委員間意見ヲ交換シタル後コレニ関シテモ何分ノ考案ヲ各省委員ヨリ次回ニ提出スルコトナシタリ

次回ハ一月二十三日(金曜日)午後一時半開会ノコトナセリ

第五回會議

一月二十三日午後一時半外務省ニ於テ開会同六時閉会出席者前回ノ通り

前回討議ノ結果ヲ取纏メタル別紙第一〇号ニ依リ重要輸出品ニ就キ更ニ逐一審査ノ上必要ナル訂正ヲ施シ尚ホ次回ノ會議迄ニ右ノ結果ヲ整理シ其際再協議ニ付スルコトナシタリ

尚ホ当日農商務省ヨリ別紙第一一号及大蔵省ヨリハ別紙第一二、一三、一四号外務省ヨリハ別紙第一五乃至二一号夫々提出シタリ

次回ハ来ル一月二十六日(月)午後一時半開会ノコトナシタリ

第六回會議

ス利害(大)

第七号 重要支那輸入品表(大)

第八号 支那ノ輸入税ヲ現実五分税ニ換算ノ曉ニ我國ノ貿易ニ打撃ヲ与フル恐アル物品(大)

第九号 支那輸入税現実五分税ニ改正シタル場合ノ影響(農)

第十号 支那関税現実五分改修カ本邦重要輸出品ニ及ホス影響ニ関スル調査(外)

第十一号 税率分類方法ノ變更又ハ設定ヲ必要トスルモノノ例(農)

第十二号 現実五分税ニ換算シタル為メ對支本邦重要品ニ對スル増税額調(大)

第十三号 抵代税ノ勵行及内外品ニ對スル均等ノ取扱ヲ要求スル件(大)

第十四号 對支本邦重要輸出品ニ對シ現行支那輸入從量税表ノ分類ヲ變更スルノ要アルモノ(大)

第十五号 支那関税改修ニヨル本邦對支貿易ノ負擔増加(外)

第十六号 関税改修ノ影響ト之レニ對スル方策(外)

一月二十六日(月)午後一時半外務省ニ於テ開会、同六時閉会シタリ出席者前回ノ通りトス
前回ノ取極ニ基キ其討議ノ結果ヲ取纏メタル別紙第二二号ニ付協議ノ上補正追加スル所アリタリ尚其結果ハ別ニ調査書トシテ取纏ムルコトナシタリ尚同會議ニ於テハ関税改修問題ノ影響調査ニ関聯シ考量ヲ必要ト認メタル各種事項ニ関シ意見ヲ交換シタル上其結果ハ別冊ニ於テ之ヲ取纏ムルコトナシタリ

当日大蔵省委員ヨリ別紙第二三及農商務省委員ヨリ別紙第二五号夫々提出アリタリ

右ニテ本會議所期ノ調査ヲ終了シタルモノト認メ散会シタリ

會議録附屬書目錄

第一号 綿糸ニ関スル調査(農)

第二号 阿部房次郎講演(農)

第三号 綿織糸ニ関スル資料(大)

第四号 綿糸ニ関スル調査(農)

第五号 綿織物ニ関スル調査(農)

第六号 支那輸入税ヲ現実五分税ニ改正ノ場合我國ニ及ホ

第十七号 支那商標法ノ実施(外)

第十八号 支那品ニ対スル内地税ノ賦課若クハ増徴(外)

第十九号 関税改修ニ際シ税目分類法及税率分画法ノ改

善(外)

第廿号 輸入品ニ対スル支那側不法課税ノ矯正(外)

第廿一号 支那産品ノ或物ニ対シ輸出税ノ免除(外)

第廿二号 支那関税現実五分改修カ本邦重要輸出品ニ及ホ

ス影響ニ関スル調査要領(外)

第廿三号 現実五分税トナリタル場合ニ対支重要輸出品ニ

対スル関税ノ引上歩合及金額調(大)

第廿四号 現実五分税トナリタル場合ニ関税ノ引下ラルヘ

キ歩合及税額(大)

第廿五号 支那ニ於ケル輸出税ノ免除ヲ要求スヘキ物

品(農)

第廿六号 海関吏ノ増加(農)

註 右会議録附屬書第一号乃至第二十六号省略ス

(附屬書二)

別紙第二号

支那関税現実五分改修カ本邦重要輸出品ニ及

ホス影響ニ関スル調査

要領

(甲) 関税ノ現実五分改修ニヨリ当面多大ノ打撃ヲ受クルモノ

ハ綿糸ヲ第一トシ綿布中生「シーチング」之レニ次ギ其他

莫大小類及ヒ黄燐燐寸等アリ其品目必スシモ多カラスト雖

モ此等ハ何レモ我対支輸出品中重要ナルモノニ属シ関税改

修ハ支那品ノ競争カ増加スル結果此等本邦輸出品ノ前途ニ

対シ著シキ障碍タルモノト認ム

(乙) 対支貿易品中現在ノ輸出高ハ兎モ角トシテ将来ニ対シ多

大ノ望ヲ属スヘキモノ殊ニ各種織物類、革類等ニ関シ関税

増加ノ打撃ハ亦タ憂惧スヘキモノアリ

(丙) 関税改修ノ結果税額ノ引上トナルモノハ其引上ケラルル

丈ケ影響ヲ受クヘキコト勿論ナリト雖モ貿易品ニヨリテハ

支那品ノ競争ナキカ或ハ関税増額カ需要者ニ転嫁セラルヘ

キ為メ差シタル打撃ヲ感受セサルモノモ之レアルヘク將又

関税改修ノ結果却テ減税トナルモノノ渺シトセス

今前記各項ニ該当スル物品ヲ表掲スルコト左ノ如シ

(甲) 差向キ大打撃ヲ受クヘキモノ

一、綿織糸

二、生「シーチング」

三、「メリヤス」製品

四、黄燐燐寸

(乙) 多望ナル将来ヲ有スル商品ニシテ現実五分税ノタメ多大ノ影響ヲ受クヘント認メラルモノ

一、綿縫糸

二、織物類

イ、雲斎布及綾木綿

ロ、天竺布

ハ、生金巾

ニ、毛織物及毛綿織物

ホ、晒金巾、晒「シーチング」

ヘ、綿「フランネル」

ト、綿帆布

チ、捺染綿布

リ、染色綿布

三、革類

四、蝙蝠傘

(丙) 其他ノ物品

A 税率増加スルモノ

綿縮以下三十一品ヲ重ナルモノトス

B 税率減少スヘキモノ

綿「ブランケット」以下十二品ヲ重ナルモノトス

C 税率増減ナキモノ

靴足袋、木材(硬材)

(甲) 差向キ大打撃ヲ受クヘキモノ

(一) 綿織糸

(大正元年支那ヘノ輸出額 四五、七五七、九四八円
現税割合 三分六厘)

関税改修ノ影響最モ大ナルモノヲ綿糸トス大正元年支那ヘ

ノ綿糸輸出高ハ約三十万梱ニシテ本邦綿糸ノ総出来高約百

三十五万梱ニ対シ三割弱ニ該当スヘク今仮リニ大正元年ノ

輸出高ニヨルトキハ現実五分トナリタル場合年額約五六十

万円ノ増税トナルヘク更ニ之レヲ大正二年ノ輸出高ニヨリ

計算スレハ約八十余万円ノ増徴トナルヘシ尚ホ試ミニ重ナ

ル本邦紡績会社既往数年ノ營業成績ニ照シ現実五分税ノ影

響スル程度如何ヲ考フルニ此等会社中支那輸出ヲ主トスル

モノト否トニヨリ打撃ノ程度モ自ラ多大ノ差異アリテ後者

即チ支那向輸出ノ多額ナラサルモノニ於テハ左シタル影響

ヲ感受セサルモ前者即チ輸出ヲ主トスル会社ニアリテハ別

表ノ示ス如ク配当年率歩合ニ於テ約二三割乃至四五割方ノ減少ヲ呈スルモノ之レアルヲ見ル(但シ右ノ計算ニ於テハ関税増額ヲ全部紡績会社ニ於テ負担スルモノト見做シ此増額丈ケ配当金ヲ減スルモノト仮定シタリ)要スルニ本品カ支那ニ於ケル将来ノ発展ヨリ見レハ現実五分トナルハ由々敷大事ニシテ近來勃興シツツアル支那紡績業トノ競争上本品ノ受クル打撃甚大ナルヘク若シ之レヲ無条件ニテ現実五分ニ改修スルニ於テハ本品ノ前途頗ル悲觀スヘキモノアリ依テ成ルヘク現率据置ヲ可トスルモ若シ現実五分改修ノ已ムヲ得サル場合ニ於テハ支那品ニ課税若クハ増税ヲナス等彼我ノ權衡ヲ得セシムル為メ相当ノ条件ヲ附スルハ勿論進シテ右課税ノ条件以外何等カノ代償ヲ獲得スルノ適当且ツ必要ナルヲ認ム例ヘハ原料品タル支那綿花ノ輸出税ヲ撤廃セシムルカ如キハ其一ナルベシ

(ニ)生「シーチング」(大正元年支那ヘノ輸出額 六、三八七、一三四四円 現税割合 三分一厘)

本品ハ現在ニ於テモ既ニ支那品ノ競争ヲ受ケ居ルモノニシテ税率改修ノ結果本邦品ノ前途ヲシテ愈々困難ニ陥ラシムヘキヲ以テ綿織糸ノ項ニ述ヘタルト等シク之ニ對シテモ適當ナル救済策ヲ講スルヲ要ス

(三)「メリヤス」肌衣及「ズボン」下

(大正元年支那ヘノ輸出額 六六二、八一四円 現税割合 三分五厘)

現実五分税ハ本品ニモ尠カラサル増徴トナル本品ハ現在本邦ヨリノ輸入モ可ナリ多量ニシテ将来亦多量ナルニ拘ラス他方支那ニ於ケル同一製品ニ對スル同国政府ノ保護奨励ト相俟テ関税改修ハ本邦品ニ多大ノ影響ヲ与フヘシト認ム

(四)黃燐寸 (大正元年支那ヘノ輸出額 四、四四〇、三二一円 現税割合 四分五厘)

本品ハ現今既ニ支那品トノ競争ニ苦ミツツアルヲ以テ関税改修ハ仮令五厘ノ引上トナルニ過キストスルモ一層彼トノ競争ヲ困難ナラシムルニ至ルヘシ

(乙)多量ナル将来ヲ有スル商品ニシテ現実五分税ノ為メ多大ノ影響ヲ受クヘシト認メラルモノ

(一)綿織糸 (大正元年支那ヘノ輸出額 一七四、四九〇円 現税割合 三分五厘)

(ニ)織物類

(イ)雲斎布及綾木綿 (大正元年支那ヘノ輸出額 四、〇七八、八九〇円 現税割合 三分一厘)

(ロ)天竺布 (大正元年支那ヘノ輸出額 五九四、七六八円 現税割合 三分四厘)

(ハ)生金巾 (大正元年支那ヘノ輸出額 「シーチング」統計中ニ含マル 三分乃至三分四厘 現税割合 三分一厘)

(ニ)毛織物及毛綿織物 (大正元年支那ヘノ輸出額 三五〇、三三九円 現税割合 三分一厘)

(ロ)晒金巾、晒「シーチング」(大正元年支那ヘノ輸出額 一七、〇二二円 現税割合 三分)

(ハ)綿「フランネル」(大正元年支那ヘノ輸出額 一七〇、五九八円 現税割合 三分八厘)

(ロ)綿帆布 (大正元年支那ヘノ輸出額 一五一、八三九円 現税割合 四分)

(イ)擦染綿布 (大正元年支那ヘノ輸出額 特掲品ニアラサル故不明 三分六厘乃至四分五厘 現税割合)

(ロ)染色綿布 (大正元年支那ヘノ輸出額 特掲品ニアラサル故不明 三分三厘乃至四分五厘 現税割合)

(ニ)革類 (大正元年支那ヘノ輸出額 二五一、八九九円 現税割合 四分七厘)

(四)蝙蝠傘 (大正元年支那ヘノ輸出額 八五二、九六一円 現税割合 四分一厘)

此等諸品中ニハ本邦ヨリノ輸出未タ左シテ大ナラサルモノ之アルヘシト雖モ何レモ多量ナル将来ヲ有スル商品ニシテ一方支那ニ於テモ近來漸ク製造ニ著手シ或ハ製造セラレ得ヘキ物品ニ係ルヲ以テ関税改修ハ更ニ此氣運ヲ促進シ本邦商品ノ打撃ヲ招致スル上ニ於テ多大ノ影響アルモノト認ム

(丙)其他ノ物品

(A)税率増加スルモノ

○印ヲ附シタルモノハ支那品ノ競争アルニヨリ特ニ不利益ヲ蒙ルヘキモノトス

○(一)綿縮 (大正元年支那ヘノ輸出額 三六、九五五円 現税割合 三分四厘)

○(二)乾蝦 (大正元年支那ヘノ輸出額 二〇二、五九一円 現税割合 三分五厘)

○(三)石炭 (大正元年支那ヘノ輸出額 六、七一五、三三五円 現税割合 四分七厘)

(四)錫 (大正元年支那ヘノ輸出額 三九九、〇九一円 現税割合 四分六厘)

(五)乾魚 (大正元年支那ヘノ輸出額 一六四、九三七円 現税割合 三分一厘)

(六)鹹魚 (大正元年支那ヘノ輸出額 三六一、八四四円 現税割合 四分八厘)

(七)鮑 (大正元年支那ヘノ輸出額 二一、七七六円 現税割合 三分六厘)

(八)貝柱 (大正元年支那ヘノ輸出額 二〇六、八六二円 現税割合 一分一厘)

(九)淡菜 (大正元年支那ヘノ輸出額 一四、〇六二円 現税割合 四分)

(十)揚卷貝 (大正元年支那ヘノ輸出額 五三、九五九円 現税割合 三分五厘)

(出)鱈鱈(黒) (大正元年支那ヘノ輸出額 一一五、七三六円 現税割合 四分八厘)

(出)昆布及刻昆布 (大正元年支那ヘノ輸出額 一、七七三、三四三円 現税割合 四分六厘)

(出)寒天 (大正元年支那ヘノ輸出額 二六八、一九九円 現税割合 三分五厘)

(出)精糖 (大正元年支那ヘノ輸出額 七、六七八、七三九円 現税割合 四分三厘)

(出)水糖 (大正元年支那ヘノ輸出額 一八、三二二円 現税割合 四分二厘)

(出)麦酒(瓶入) (大正元年支那ヘノ輸出額 三四九、七七六円 現税割合 四分九厘)

(出)同上(樽入) (大正元年支那ヘノ輸出額 四四、五三八円 現税割合 四分一厘)

(出)椎茸 (大正元年支那ヘノ輸出額 三二七、四八〇円 現税割合 四分三厘)

(出)素麵 (大正元年支那ヘノ輸出額 二、四三七円 現税割合 四分)

(出)起泡飲料水 (大正元年支那ヘノ輸出額 一〇三、一三〇円 現税割合 三分三厘)

(出)石鹼(洗濯用) (大正元年支那ヘノ輸出額 四、二〇九円 現税割合 二分九厘)

(出)茴香 (大正元年支那ヘノ輸出額 二二、九二一円 現税割合 四分二厘)

(出)「ペーント」 (大正元年支那ヘノ輸出額 二、四三三円 現税割合 四分三厘)

六 中国輸入税率改正一件 一八八

(錫)「セメント」	三五、一六〇円
(錫)銅(塊及錠)	四、六七四、三〇二円
(錫)同(板)	一八八、七〇七円
(錫)同(線)	三三、七一二円
(錫)真鍮(板)	一八、八九二円
(錫)同(線)	六五、四三六円
(錫)木炭	一〇〇、七七八円
(錫)「マツチ」軸木	一八四、七三二円
(B)税率減少スヘキモノ	
(一)綿「ブランケット」	(大正元年支那ノ輸出額 一〇六、〇九一円 現税割合 五分三厘)
(二)毛「ブランケット」	(一三八、六三九円 五分七厘)
(三)海參	(三八九、三九九円 五分六厘)
(四)清酒	(三三七、一五五円 五分五厘)
(五)人參	(三三七、一五五円 五分五厘)
(六)硫酸	(四三、五四三円 五分四厘)
(七)硫酸	(三一、三四八円 五分五厘)
(八)安全燐寸	(一、一五六、二四八円 五分一厘)
(九)手巾	(五、七四五円 六分)
(十)鈕釦	(一三、一三七円 五分九厘)

配当金ノ純益金ヨリ多キモノハ繰越金又ハ積立金ヲ配当金ニ用キタルニ由ル、尙配当金ノ払込資本金ニ対スル割合ト配当年率ト符合セサルモノ二三アルモ本表ノ示サントスル趣旨ニ関係スル所少キヲ以テ強テ訂正セス

第一表

明治四十三年上半期

会社名	期末現在 資本金	繰上高 繰上高	繰上高 繰上高	純益金 配当金	配当年 率	純益金 減少額	純益金 減少額	純益金 減少額
大阪紡績	四〇六、三	四〇六、三	四〇六、三	四〇六、三	一〇〇	四〇六、三	四〇六、三	四〇六、三
大阪合同紡績	一七三、五	一七三、五	一七三、五	一七三、五	一〇〇	一七三、五	一七三、五	一七三、五
大阪合同紡績	二四〇、〇	二四〇、〇	二四〇、〇	二四〇、〇	一〇〇	二四〇、〇	二四〇、〇	二四〇、〇
福島紡績	一〇〇、〇	一〇〇、〇	一〇〇、〇	一〇〇、〇	一〇〇	一〇〇、〇	一〇〇、〇	一〇〇、〇
岸和田紡績	四〇、〇	四〇、〇	四〇、〇	四〇、〇	一〇〇	四〇、〇	四〇、〇	四〇、〇
倉敷紡績	七五、六	七五、六	七五、六	七五、六	一〇〇	七五、六	七五、六	七五、六
三重紡績	六〇、〇	六〇、〇	六〇、〇	六〇、〇	一〇〇	六〇、〇	六〇、〇	六〇、〇
鐘淵紡績	九〇、〇	九〇、〇	九〇、〇	九〇、〇	一〇〇	九〇、〇	九〇、〇	九〇、〇

第二表

明治四十三年下半期

六 中国輸入税率改正一件 一八八

(E)印刷料紙	三四五、五九四円
(E)「マツチ」箱材	一四一、三五二円
(C)税率増減ナキモノ	
(一)靴足袋	(大正元年支那ノ輸出額 七〇〇、五九七円 現税割合 五分)
(二)木材(硬材)	(九五〇、〇〇二円 五分)

説明

支那関税改修ノ結果我紡績会社ノ蒙ムルベキ利益減少額

本表ニ掲クル所ノモノハ最近数年間中比較的好況ナリシニ半期ト不況ナリシニ二期ニ於ケル計數ニシテ半期中一千捆以上ヲ輪移出シタル会社ニ関スルモノヲ掲ク
利益減少額ハ千九百十年以後三年間支那ニ輸入シタル綿糸ノ平均価格一担二十六兩八匁ノ五分ト現行関税トノ差額ニ依リ一捆三担ノ税額ヲ算出シ之ヲ邦貨ニ換算シタルモノ即チ一円七十五錢五厘ヲ一捆ニ対スル利益減少額トシテ算定セリ

純益金中ニハ兼営ノ織布業ノ利益ヲ含メリ又織布業ノ規模ノ大体ハ第四表ノ綿布出来高ニ依リテ之ヲ示セリ

会社名	期末現在 資本金	繰上高 繰上高	繰上高 繰上高	純益金 配当金	配当年 率	純益金 減少額	純益金 減少額	純益金 減少額
大阪紡績	四〇六、三	四〇六、三	四〇六、三	四〇六、三	一〇〇	四〇六、三	四〇六、三	四〇六、三
大阪合同紡績	一七三、五	一七三、五	一七三、五	一七三、五	一〇〇	一七三、五	一七三、五	一七三、五
大阪合同紡績	二四〇、〇	二四〇、〇	二四〇、〇	二四〇、〇	一〇〇	二四〇、〇	二四〇、〇	二四〇、〇
福島紡績	一〇〇、〇	一〇〇、〇	一〇〇、〇	一〇〇、〇	一〇〇	一〇〇、〇	一〇〇、〇	一〇〇、〇
岸和田紡績	四〇、〇	四〇、〇	四〇、〇	四〇、〇	一〇〇	四〇、〇	四〇、〇	四〇、〇
倉敷紡績	七五、六	七五、六	七五、六	七五、六	一〇〇	七五、六	七五、六	七五、六
三重紡績	六〇、〇	六〇、〇	六〇、〇	六〇、〇	一〇〇	六〇、〇	六〇、〇	六〇、〇
鐘淵紡績	九〇、〇	九〇、〇	九〇、〇	九〇、〇	一〇〇	九〇、〇	九〇、〇	九〇、〇

第三表

大正元年下半期

会社名	期末現在 資本金	繰上高 繰上高	繰上高 繰上高	純益金 配当金	配当年 率	純益金 減少額	純益金 減少額	純益金 減少額
大阪紡績	四〇六、三	四〇六、三	四〇六、三	四〇六、三	一〇〇	四〇六、三	四〇六、三	四〇六、三
大阪合同紡績	一七三、五	一七三、五	一七三、五	一七三、五	一〇〇	一七三、五	一七三、五	一七三、五
大阪合同紡績	二四〇、〇	二四〇、〇	二四〇、〇	二四〇、〇	一〇〇	二四〇、〇	二四〇、〇	二四〇、〇
福島紡績	一〇〇、〇	一〇〇、〇	一〇〇、〇	一〇〇、〇	一〇〇	一〇〇、〇	一〇〇、〇	一〇〇、〇
岸和田紡績	四〇、〇	四〇、〇	四〇、〇	四〇、〇	一〇〇	四〇、〇	四〇、〇	四〇、〇
倉敷紡績	七五、六	七五、六	七五、六	七五、六	一〇〇	七五、六	七五、六	七五、六
三重紡績	六〇、〇	六〇、〇	六〇、〇	六〇、〇	一〇〇	六〇、〇	六〇、〇	六〇、〇
鐘淵紡績	九〇、〇	九〇、〇	九〇、〇	九〇、〇	一〇〇	九〇、〇	九〇、〇	九〇、〇

大阪合同 紡績	二四〇・〇	五、六五二・七六〇	三・三	一・二	三・二	一・五	〇・二五
○福島紡績	一五五・六	四、七三三・四一五	三・八	二・〇	七・三	一・八	〇・一七
内外綿株 式会社	二五〇・〇	三、三九四・七九	二・五	一・五	〇・六	〇・二	〇・〇四
堺紡績	九〇・〇	一、〇三三・七	三・八	一・〇	〇・六	〇・四	〇・〇三
○岸和田紡 績	一五・六	三、七〇五・三九四	三・六	一・三	四・九	一・三	〇・三
○倉敷紡績	八二・五	三、八三二・〇一七	三・六	一・三	一・七	〇・四	〇・〇
○三重紡績	七三・三	三、〇六四・二九六	三・四	一・〇	二・〇	〇・一六	〇・〇五
鐘淵紡績	一、三四六	一四、七六三・六四一	一・六	一・〇	六・七	〇・四	〇・一〇
東京紡績	四九二・三	一七、六七四・一五七	一・五	一・九	〇・二	〇・四	〇・一〇
和歌山紡 績	一三〇・〇	一、六四四・七六九	一・七	一・五	一・三	〇・四	〇・一〇
富士瓦斯 紡績	二、二四七	四、七三三・二七四	一・九	一・〇	〇・四	〇・三	〇・一〇
日清紡績	三三〇・〇	九、九九九・二二〇	一・六	一・七	〇・四	〇・三	〇・一〇

第四表

大正二年上半年

会社名	期末現在 在払込 資本金	繰上 布糸 出来高	繰上 糸ノ 移出高	純益金 配当金	配当率	純益金 減少額	同上ノ 純益金 歩合	同上ノ 私込資 本金ニ 対スル 歩合
大阪紡績	四六・七	五、六五七・四〇六	四、四三三・七〇六	三・八	一・〇	〇・八	〇・一三	〇・〇三
○摂津紡績	二五・三	七、〇九三・八四七	四、七四〇・三六	三・六	一・〇	五・四	〇・二	〇・〇五
大阪合同 紡績	四〇〇・〇	五、七九一・四六	二、九四六・九	一・七	一・〇	三・四	〇・六	〇・一七

参考第一号

支那関税改修ノ結果我對支貿易品ノ蒙ルヘキ
輸入税増加額

一、支那関税率換算上從価現実五分ノ割合ノ基礎トナルベ
キ價格ノ標準ハ何ニヨリテ定マルヘキヤハ本問題ノ利害ヲ
講究スルニ於テ先ツ第一ニ考慮スヘキ点ナルモ差当リ千九

○福島紡績	一、五・六	四、四八〇・〇九四	三・七	一・六	七・〇	一・九	一・〇三
内外綿株 式会社	三三・五	二、五八八・七六一	二・七	一・五	〇・四	〇・二	〇・〇三
堺紡績	九〇・〇	一、〇三三・七	三・八	一・〇	〇・九	〇・三	〇・〇三
○岸和田紡 績	一五・六	三、七〇五・三九四	三・六	一・三	四・九	一・三	〇・〇三
日本紡績	二五・〇	三、八三二・〇一七	三・六	一・三	一・七	〇・四	〇・〇三
○倉敷紡績	八二・五	三、八三二・〇一七	三・六	一・三	一・七	〇・四	〇・〇三
尼崎紡績	二六・〇	三、七三三・一六六	三・七	一・五	〇・四	〇・七	〇・〇三
三重紡績	七三・三	三、〇六四・二九六	三・四	一・〇	二・〇	〇・一六	〇・〇五
鐘淵紡績	一、三四六	一四、七六三・六四一	一・六	一・〇	六・七	〇・四	〇・一〇
東京紡績	四九二・三	一七、六七四・一五七	一・五	一・九	〇・二	〇・四	〇・一〇
和歌山紡 績	一三〇・〇	一、六四四・七六九	一・七	一・五	一・三	〇・四	〇・一〇
富士瓦斯 紡績	二、二四七	四、七三三・二七四	一・九	一・〇	〇・四	〇・三	〇・一〇
日清紡績	三三〇・〇	九、九九九・二二〇	一・六	一・七	〇・四	〇・三	〇・一〇

百十二年ノ支那貿易統計表（最近ノモノ）ニ現ハレタル各
国ヨリノ輸入品ノ價格ノ平均ヲ以テ計算ノ基礎トナセリ
一、右ニ基キ我重要輸出品ニ對シ改正関税率ヲ推算シ之ニ
ヨリテ本邦重要輸出品中四十五種ニ對シ其蒙ルヘキ負担増
加額ヲ算出スルニ大正元年ノ貿易額ニヨレハ約ソ百四万三
千余円トス

三、然レトモ一面ニハ現実五分税トナリテ税額却テ低減ス
ルモノアルヘク其額ヲ十二種ノ貿易品ニツキ前同様推算ス
ルニ約ソ一万五千余円トス

四、右増減額ヲ差引クトキハ實際ノ増加額百二万八千余円
トナル而シテ其過半ハ綿織糸ニ對スル増徴ナリ

備考 大正二年ノ對支那輸出額ハ前年ニ比シ約三割五分
ノ増加ヲ告ケ居ルヲ以テ関税改修ノ為ニ生スル負
担増加額前記推算額ヨリモ一層多額ニ上ルヘシ

（尚ホ委細ハ別紙「参考第三号」参照）

五、更ニ他ノ計算法ヲ取り大正元年支那純輸入総額四億七
千三百万海關兩中ノ有税品四億四千八百万兩ニ對スル輸入
税收入額千六百四万兩ヲ以テ平均関税率ヲ算出スレハ正ニ
三分五厘八毛ニ当ル之レヲ現実五分税ニ改修スルトセハ一

分四厘二毛ダケノ増徴ナリ今之レヲ以テ大正元年中本邦品
ノ支那輸入額九千百万兩ニ對スル税額ヲ算出スレハ其負担
増加額百二十九万二千兩即チ邦貨換算百九十三万八千円ト
ナル
之ヲ大正二年ノ貿易額ニヨリ推算スレハ約二百六十一万六
千円ノ負担増加トナルヘシ

参考第二号

支那関税改修ニヨリ我輸出品力受クヘキ打撃
及ヒ其緩和策ニ就テ

一、現行從量税ヲ現実五分ニ改定スルトキハ無論大体ニ於
テ関税現額ヲ引キ上クル結果トナリ支那ヘノ輸入品ハ或ハ
其價格ノ騰貴ニヨリテ販路ヲ害セラレ或ハ右引上額ノ全部
若クハ一部生産者ノ負担トナルカ為メ其利益ヲ減少シ結局
貿易上ノ打撃ハ到底免カレ難カル可ク特ニ支那生産品ノ競
争ヲ受クヘキ貨物ニ付テハ其影響甚深ナルヘシ
二、然レハ本邦品中綿糸ノ如キハ最も多大ノ打撃ヲ蒙ルヘ
ク綿布ノ如キモ将来ノ發展上一大障礙タルヘシ若シ関税改
修ノ已ムヲ得サルモノアリトセハ何等カ右ノ影響ヲ緩和ス
ヘキ条件ヲ支那側ト協定スル必要ヲ認ム

六 中国輸入税率改正一件 一八八

三、蓋シ現実五分トナス場合現税額引キ上ケノ程度ハ平均一分四厘余位ニ過キサルヲ以テ増税ノミニヨル輸入ノ減少ハ時運ノ進歩ニ伴ヒ早晚回復ノ期ナキニシモアラサルヘシ唯惧ルヘキハ増税ノ為メ勃興スヘキ支那製品ノ競争ニアリ此影響ヤ到底我ノ堪ユル所ニアラス此レ関税改修ニ際シ大ニ警戒ヲ要スル所以ナリ

四、即チ右ノ如ク関税ヲ引キ上ケ他方何等ノ緩和策ヲ講セサランカ支那内地ニ工業ノ勃興スヘキハ疑ヲ容レス事此ニ至ラハ同一製品ノ輸入ハ永久的ノ打撃ヲ受ケ到底創痍ヲ回復スルノ期ナカルヘシ故ニ関税改修ニヨル我対支貿易損害ノ程度ハ現今ニ於ケル貿易額ノミヲ目安トシテコレヲ打算スルコトヲ得ス

五、紡績業ノ如キ大規模ノ工場ト洋式ノ機械トヲ以テスルニアラサレハ製造シ難キ工業ニ関シテハ関税改修ノ条件トシテ工場ヨリ製品搬出ノ際生産税トシテ例ヘハ輸入税ト同額ノ課税ヲ為シ同時ニ該工場ニ対シテハ如何ナル名義ニテモ戻税又ハ奨励金ヲ下附セサルコトヲ保証セシムルトキハ関税改修ノ我対支貿易ニ及ホス影響ヲ大ニ緩和スルコトヲ得ヘシ

三二二

六、然レトモ綿布類ノ如キハ洋式ノ機械ヲ用フルト同時ニ小規模ノ工場又ハ家庭ニ於テ手機ニヨル製造ヲ為シ得ヘキニヨリ此種ノ物品ニ対シテハ仮令輸入税ト等シキ内地税ヲ賦課スルコトトスルモ其実行ニ於テ到底困難ナラン参考第三号

現実五分税トナリタル場合ニ対シ重要輸出品ニ対スル関税ノ引上歩合及金額調

品名	大正元年 支那ヘノ 輸出額	現行支那税 率ノ從價歩 合	増加歩 合	増加税額
綿織糸	四、七九六、九六六	三・〇%	一・四四%	六四〇、六二
生「シーチング」及 生金巾	六、三三三、三三三	三・〇%	一・九%	一二、三五六
雲斎布及綾木綿	四、〇六八、九〇	三・〇%	一・九%	七七、四九
天竺	五九四、七六八	三・四%	一・六%	九、五六
綿「メリヤス」肌衣 及「ズボン」下	六、六二、一一	三・五%	一・五%	九、四三
黄燐燐寸	四、四四〇、三三	四・〇%	〇・五%	二、三三〇
綿縫糸	一七四、四九〇	三・〇%	一・五%	二、六七
羅紗及「セルジス」 晒金巾及晒「シーチ ング」	二一、五〇〇	三・〇%	一・九%	四、〇一九
綿「フランネル」	一七〇、三三	三・〇%	二・〇%	三、四〇
綿帆	一七〇、五九八	三・八%	一・一%	二、〇四七
綿縮布	一五、八三九	四・〇%	一・〇%	一、五八
革類	三六、九五五	三・四%	一・〇%	五九
	二五、八八九	四・七%	〇・七%	七、五六

品名	大正元年 支那ヘノ 輸出額	現行支那税 率ノ從價歩 合	増加歩 合	増加税額
銅(塊及錠)	四、六四、三〇三	四・一%	〇・七%	四、〇六九
同(板)	一八、七〇七	四・〇%	一・〇%	一、八八七
同(線)	三、七三三	四・一%	〇・九%	二、九四
真鍮(板)	二、八八三	四・一%	〇・九%	一、〇九
同(線)	五、四三六	四・〇%	〇・一%	六
木炭	一〇〇、七六	三・〇%	二・〇%	二、〇四
「ヤツチ」軸木	一八四、七三	四・〇%	〇・一%	一、八五
計	一八四、七三	四・〇%	〇・一%	一、八五

現実五分税トナリタル場合ニ関税ノ引下ラルベキ歩合及税額

重要輸出品	大正元年 支那ヘノ 輸出額	現行税率ノ 從價歩合	引下歩 合	引下税額
綿「ブランケット」	一〇六、〇九二	五・〇%	〇・三%	三八
毛「ブランケット」	二八、六三九	五・〇%	〇・七%	九七〇
海參	三九、九元	五・〇%	〇・六%	二、三六
清酒	三、七〇六	六・一%	一・一%	九、四四
人參	三、三、五五	四・一%	〇・五%	一、〇三
硫磺	三、四八三	六・二%	一・七%	一、〇三
硫酸	三、四八三	六・二%	一・七%	一、〇三
硫磺	三、四八三	六・二%	一・七%	一、〇三
安全燐	二、二五、四八	五・〇%	〇・五%	一、五七
手巾	五、七四五	六・〇%	一・〇%	七

六 中国輸入税率改正一件 一八八

品名	大正元年 支那ヘノ 輸入額	現行税率ノ 從價歩合	増加歩 合	増加税額
洋傘(綿張)	八五三、九六二	四・二%	〇・〇%	七、六七
鰻魚	三、九〇九、二	四・六%	〇・四%	一、五九六
乾鰻魚	一、六四、九三七	三・〇%	一・一%	一、八二四
鹹魚	三、一、二四	四・八%	〇・〇%	七、四
鮑魚	二、七六	三・九%	一・一%	二、〇
貝柱	一〇六、八三	一・〇%	三・〇%	八、〇六
淡菜	一、四、〇三	四・〇%	一・〇%	一、四
揚卷貝	五、九五九	三・五%	一・五%	八、〇
乾蝦(摺蝦ト 看做ス)	二〇、五九二	三・五%	一・五%	三、〇三
乾鱈(黒ト看做ス)	一、五、七六	四・〇%	〇・〇%	三、三
昆布及刻昆布	一、七三、三三	四・〇%	〇・九%	一、四、三
寒天	三、八、一九	三・三%	一・三%	四、〇三
精糖	七、六八、七元	四・三%	〇・七%	三、七五
氷糖	一、八、三三	四・二%	〇・〇%	一、七
麥酒(瓶入)	三、四、七六	四・〇%	〇・〇%	三、五〇
同上(樽入)	四、五、六	四・一%	〇・九%	四、〇
椎茸	三、七、四八〇	四・三%	〇・二%	三、二九
素麵	二、四、七	四・〇%	一・〇%	二、四
起泡飲料水	一〇、一、一〇	三・〇%	一・七%	一、七五
石鹼(洗濯用)	四、一〇、一	二・〇%	二・〇%	八
面香	三、三、九二	四・二%	〇・〇%	一、三
「ペーント」	二、四、一三	四・二%	〇・〇%	九
石炭	六、七五、三三	四・四%	〇・〇%	二〇、四六
「セメント」	五、一、六一	四・五%	〇・五%	一、六

三二三

品 目	大正元年 支那へノ 輸出額	現行税率ノ 從価歩合	一〇元
鈕 釦	一三、一七〇	五・九%	一〇元
印 刷 料 紙	三、五九四	六・二%	四、四七
「マツチ」箱 材	一、二五三	五・一%	一、二四
計		〇・一%	一五、〇三四

現実五分税トナリタル場合税率増減ナキモノ

品 目	大正元年 支那へノ 輸出額	現行税率ノ 從価歩合
靴 足 袋	七〇、九七〇	五 %
木 材 (硬材)	九、〇〇三	五 %

(附屬書三)

別紙第三号

支那関税改修問題ニ關聯シ考慮ヲ必要ト認メ
タル各種事項ニ關スル調査

今回ノ會議ニ於テハ当初ヨリ関税改修問題カ我重要輸出品
ニ及ホス影響ノ調査ヲ主眼トシタルコト勿論ナリト雖モ右
調査ノ際自然其影響ヲ緩和スル為メノ救済策ニ論及シ將又
影響ノ容易ナラサルニ鑑ミ之カ代償トシテ考量ノ価値アル
事項ニ付意見ノ交換ヲ為シタル結果其概要ヲ掲記スルコト
左ノ如シ

一、関税委員ノ集合前支那側提案ヲ審査スル件

シフィケーション」ヲ修正スルノ必要アルヘキモ右ハ
各国必スシモ利害ヲ同フセサル次第モアリ兎ニ角関税
改修提議ニ對スル我要求ノ一トシテ初メヨリ之ヲ先方
ニ提示スルハ考ヘ物ナルヘキニヨリ引續キ關係省ニ於
テ之ヲ研究シ置クニ止メ寧ロ支那側ヨリ前掲第一ノ方
法ニ依リ提案ヲ我ニ示シ来リタル際之ヲ点檢シタル上
臨機必要ナル措置ニ出ツルノ有利ナルヲ認ム(尚試ニ
本件ヲ考究シタル結果ニ關シテハ別紙第二号及第三号
参照)

四、輸入品ニ對スル支那側不法課税矯正ノ件

輸入品カ支那ニ於テ販運セラルル場合関税以外諸税金
負擔方ニ關シ明ニ條約ノ規定アルニ拘ラス支那地方官
憲ハ往々ニシテ輸入品ニ對シ條約違反ノ課税ヲ強ユル
ニヨリ関税改修問題ヲ機トシ條約規定ヲ勵行セシムル
ノ必要アリト認ム(詳細ハ別紙第四号第五号参照)

五、支那産ノ或物品ニ對シ輸出税免除ノ件

我綿糸綿布等重要輸出品ノ受クヘキ打撃ヲ緩和シ若ク
ハ之カ代償タルノ趣意ニ於テ或種ノ支那原料品例ヘハ
棉花麻類、生皮獸毛、肥料、鉄鉱等ニ對スル輸出税ヲ

六 中国輸入税率改正一件 一八八

今回関税改修ヲ実行スルモノトセハ前回(一九〇二年)
ト異リ列国委員ノ會合ニ先チ相當ノ時期ニ於テ支那側
ヨリ改修提案ヲ作製提出セシメ我關係官庁ニ於テ徐ロ
ニ之ヲ審議スルノ余裕ヲ存スルノ必要緊切ナリト認ム
支那品ニ對スル内地税ノ賦課若クハ増徴ノ件

二、
関税改修カ我重要輸出品ノ前途ニ及ホス影響ニ關シテ
ハ其直接ノ結果タル現税額ノ引キ上ケヲ来スノ品目數
カラサルノ点ニ於テ我ニ不利ナルノ外間接ノ結果タル
支那製造工業ノ勃興ニヨリ蒙ルヘキ我對支貿易上ノ打
撃更ニ恐ルヘキモノアルコト別冊「影響調査」ニ於テ
詳述シタル通りナルニヨリ現実五分ニ改修スルノ已ム
ヲ得サル場合ニハ前頭支那製品ノ勃興ニヨル我打撃ヲ
緩和スルノ救済手段トシテ支那内地品ニ對シ課税若ク
ハ増税セシムルノ必要アリ且ツ右ハ支那政府所期ノ目
的タル歳入増加ノ点ヨリ見ルモ適當ナリト認メ試ミニ
別紙第一号ノ提案ヲ作製セリ(尚別紙第五号末段參
照)

三、「クラシフィケーション」改良ノ件

愈関税改修ノ運ニ至ラハ從來ノ税率表ニ於ケル「クラ

免除セシムルコト最適當ナルノミナラス支那ニ於ケル
其供給ト本邦ニ於ケル其需要トニ鑑ミ右ハ最モ必要ナ
リト認ム然レトモ愈々右免税品目ヲ決定スル場合ニ於
テハ其一方我産業上ニ及ホス影響ヲ考量シ本邦ニ生産
艱キ工業用原料品ヲ撰択スルノ必要アルニ付慎重審議
ヲ要ス(別紙第六号参照)

六、税関訴願手續改善ノ件

現行規則ニ於テハ関税賦課ニ對スル異議申立ニ對シ之
ヲ審査決定スル機關完全ナラスシテ仲裁委員會ノ組織
ニ關シ多少ノ規定アルモ充分ナラサル為メ當業者ハ不
當ノ課税ト信シツツモ之ヲ訴フルノ便ヲ欠ク有様ナル
ニ付此機會ニ於テ本件ヲモ考量改善スル方然ルヘント
認ム

七、輸入品ノ取扱手續ニ關シ更ニ研究ノ上必要アラハ併セ
テ其改善ヲ提議スル方適當ナラン

八、海關吏増加ノ件

現在支那海關ニ職ヲ奉スル本邦人ハ他国ニ比シ割合ニ
少数ナルニ因リ此機會ニ於テ本邦人海關吏ノ増員ヲ見
ルヲ得ハ好都合ナルヘシ(別紙第七号参照)

六 中国輸入税率改正一件 一八九

九、商標法実施ノ件

支那ハ本邦トノ間ニ明治三十六年追加通商航海条約ニヨリ同国商標法ノ制定及実施並ニ本邦商標ノ保護ヲ約束シ居ルニ拘ラス今日迄其約ヲ履行セス一方ニ於テ支那人ノ我商標偽造ハ続出スルノ有様ニテ本邦商人ノ損害尠カラサルニ因リ此機ニ於テ商標法ヲ実施セシメ其約ヲ履行セシムルヲ適當且必要ト認ム(別紙第八号参照)

一〇、国境貿易ニ関シ最惠国待遇ノ件

本件ニ関シテハ明治三十八年滿洲協定第十一条ノ規定アリト雖モ露国政府カ今回殊ニ国境貿易ニ関スル条件ヲ提出シタル事実ニ鑑ミ本邦ニ於テモ殊ニ之ヲ考慮スルノ必要アラン

備考

右ノ外左記ノ諸件モ右調査ニ關聯シ委員問話頭ニ上リタルモノトス

一、貨幣制度ノ改善

二、度量衡制度ノ改善

三、米ノ輸出解禁

別電 二月十一日牧野外務大臣発在中国山座公使宛

七七号

右条件

第七六号

関稅改修問題ニ關スル外務大藏農商務三省ノ會議終了ヲ告ケタルニヨリ其結果ニ基キ本省ニ於テ詮議ヲ遂ケタル上主義ニ於テ支那ノ要求ヲ容レ同時ニ別電第七七号ノ条件ヲ附スルコトトナスノ方針ニテ關係官庁ト協議セントス尤モ閣議決定ノ後ニ於テモ支那政府ヘハ先ツ「主義ニ於テ關稅改修ノ提議ニ同意ス但附帶ノ条件アリ追テ提示スヘシ」トノ趣意ニテ回答ヲ与ヘ置キ他日適當ノ時機ニ於テ右条件ノ内容ヲ開示スルコトト致シタシ

(別電)

二月十一日牧野外務大臣発在中国山座公使宛

電報

中国ノ關稅改修提議受諾ノ附帶条件

第七七号

第一、支那ニ於テ製造セラルル機械製洋式貨物ニ対シ同種

六 中国輸入税率改正一件 一八九

四、漁業權ノ獲得

五、土地所有權ノ獲得

六、開港場附近若クハ内地ニ於テ外國人製造工場ノ開始許可

七、鉞山採掘權ノ獲得

附屬書

- 一、本調査附屬第一号ハ會議録附屬第十八号ト
- 一、同 第二号ハ 第十一号ト
- 一、同 第三号ハ 第十四号ト
- 一、同 第四号ハ 第二十号ト
- 一、同 第五号ハ 第十三号ト
- 一、同 第六号ハ 第廿五号ト
- 一、同 第七号ハ 第廿六号ト
- 一、同 第八号ハ 第十七号ト
- 同一ニ付キ茲ニ添付セズ

一八九 二月十一日 牧野外務大臣ヨリ
在中国山座公使宛(電報)

中国ノ關稅改修提議ヲ主義トシテ受諾ノ方針

及附帶条件ニ付意見問合ノ件

ノ輸入機械製品カ關稅ノ改修ニヨリテ被ルヘキ輸入税ノ増加額ニ均シキ製造税ヲ賦課スルコト

但シ如何ナル方法ヲ以テスルヲ問ハス事実上本項ノ条件ヲ變更シ若ハ無効ニ帰セシムヘキ何等ノ施措ヲナササルコト万一如斯施措ニ出テタルトキハ同種ノ輸入品ハ直ニ之ト同様ノ利益ヲ享受スヘキコト

第二、前項ノ支那機械製品ニ対シ同種ノ輸入品ニ対シテ与ヘサル奨励金、戻税、補給利子又ハ厘金其他ノ各種内國稅ニ關スル一切ノ特典若ハ免除ヲ附与セサルコト
若シ前記ノ特典免除ニシテ支那機械製品ニ附与セラルル場合ハ現在ト将来トニ論ナク同種ノ輸入品ニ対シ同種ノ特典免除ヲ總テ即時且無条件ニ附与セラルヘキコト

第三、支那商標法ヲ關稅改修ニ先立チ制定實施スルコト

第四、輸出入貨物ニ対スル左記不法課税ノ矯正及ヒ取扱ノ改善ヲ關稅改修ニ先立チ實行スルコト

将来本項ノ条件ニ違反アリタルトキハ輸入ノ場合ハ當該貨物ノ輸入税ヲ返還シ輸出ノ場合ハ當該貨物ノ輸出税ヲ免除スルコト

六 中国輸入税率改正一件 一九〇

(一)輸入品ニ対スル不法課税ノ矯正 条約ヲ勵行シ輸入税納付済ノ貨物カ開港場間ニ、又輸入税及抵代税納付済ノ貨物カ内地ニ販運セラルル場合ニ於テ一切ノ内国税ヲ課セス其他何等ノ負担ヲ命スヘカラサルコト

右ハ貨物カ支那人ノ手ニ移リタル場合ニ於テモ將又原包装ヲ變更シ若クハ分割販売セラルル場合ニ於テモ同様タルヘキコト尚右ノ実行方法トシテ地方官憲ハ貨主ノ請求ニ応シ分割若ハ包装變更ノ貨物ニ対シ無手数料ニテ関税若ハ抵代税納付済ノ貨物ナル旨ノ証明書ヲ發給スヘキコト

(二)輸出品ニ対スル不法課税ノ矯正 条約ヲ勵行シ条約國商人カ三聯單ニヨリ買出シタル支那品ニ対シ輸出税及ヒ抵代税以外何等ノ内国税ヲ課スヘカラサルコト

(三)輸出入品ニ対スル取扱ノ改善 三聯單及ヒ子口單ノ發給並ニ三聯單若ハ子口單ニヨラサル輸出入品ニ係ル厘金其他ノ内国税ニ関スル手續ヲ改良シ条約國商人ヲシテ不当ノ負担ト不便トヲ免カレシムルノ方

支那側ヨリ回答督促ニ対シテハ本国政府ヘ申入レラレタシト答ヘタル儘ニテ爾來露國政府ガ如何ナル回答ヲ与ヘタルヤニ付テハ未タ何等ノ報道ニ接セス或ハ言ハルル如ク或ル留保ヲ以テ漠然タル同意ヲ与ヘタルヤモ知レサレトモ自分ハ承知シ居ラス云々

次ニ本使ハ独逸國公使ニ尋ネタルニ同公使ハ独逸國政府ガ独逸國駐劄支那公使ニ与ヘタル十月二十九日附 Verbal Note (支那公使ノ十月二十四日附 Verbal Note ニ対スル回答)ヲ取寄セ訳読シタルガ其ノ内容ハ「独逸國政府ハ兩國ノ親善ナル關係ニ鑑ミ支那ノ財政ヲ助ケンコトヲ欲スルガ故ニ他國ガ總テ同意ナルニ於テハ現實五分税実行ニ付キ協議スルニ毫モ異存ナシ」ト云フニアリ而シテ独逸國公使ハ十二月十日右 Verbal Note ヲ孫宝琦ニ読聞カセタル由ナリ

右ニテ独逸國ノ態度ハ明カナルニ付露國ニ関シテ此上ノコトヲ確ムルニハ直接露國政府ニ御問合相成ル外ナキコトト思料ス

註

二月十日牧野外務大臣発山座公使宛往電第七四号省略セリ
該電信ハ中国ノ関税改修提議ニ対スル独露ノ回答ニ付在中

六 中国輸入税率改正一件 一九一 一九二

法ヲ立テ条約國ノ同意ヲ經テ特ニ規則ヲ發布スルコト

一九〇 二月十二日 在中国山座公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

中国ノ関税改修提議ニ対スル露獨ノ回答二関
スル兩國公使ノ談話報告ノ件

第一三〇号

貴電第七四号ニ関シ二月十二日露國公使ニ面会露國政府ハ或ル留保ヲ以テ主義上同意ヲ表シタル由ナルガ如何ナル留保ナリヤト尋ネタルニ其答大要左ノ通

露國政府ガ斯ル回答ヲ為シタルコトハ自分ノ毫モ承知セサル所ナリ曩ニ支那政府ノ照会ニ依リ本国政府ノ意向ヲ伺ヒタル処陸路貿易ハ現在ノ儘トシ海路貿易ニ付テハ若シ他國モ同意セハ露國政府ハ支那ノ提議ヲ「エキザミン」スルニ異議ナシ但シ現實五分税ニ承諾ヲ与フルニ付テハ或ル「コムペンセーション」ヲ要求スルヤモ計リ難シトノ回答アリタルガ其後外交団會議ニ依リ既ニ同意ヲ与ヘタル國モアリテ到底外交団トシテ一致ノ行動ヲ取り難ク各國別々支那政府ヘ回答スル外ナキト認メタルニ付

国独露公使ニ問合方訓令セルモノナリ

一九一 二月十三日 牧野外務大臣ヨリ
在中国山座公使宛(電報)

中国ノ関税改修提議ニ対スル露國ノ回答振二
付中国政府ヘ問合方訓令ノ件

第八二号

貴電第一三〇号ニ関シ露國政府ヘ公然条件ヲ問合ハスニ於テハ当方回答ノ内容ヲモ打明クルノ覚悟ヲ要スル処当方ニテハ条件未ダ決定セサルノミナラス露國其他ヘ予メ我回答ヲ知ラシメ相提携スルノ利害モ攻究ヲ竭シ居ラサル次第ニ付寧ロ貴官ヨリ支那政府ニ問合セラル、コト、致度就テハ同政府ニ対シ一月十七日附公文ヲ以テ通知アリタル諸國ノ外例ヘハ露壤仏等ヨリハ如何ナル回答アリタルヤト可然仕方ニヨリテ尋ネラレ自然条件附ナラハ其内容ヲモ適宜御聞合セノ上電報アリタシ

尚ホ本件ニ関シ無条件ニ支那ノ要求ニ応セサル国例ヘバ露國其他ト提携スルノ利害ニツイテモ御意見御申越アレ

一九二 二月十四日 在中国山座公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

中国關稅改修提議ニ対スル露國ノ回答振ハ露

國政府ニ問合スヲ可トスル旨等稟申ノ件

第一四一号

貴電第八二号ニ関シ露國政府ニ問合ハスニ別ニ公然タル形式ヲ取ルニモ及フ間敷又我カ回答振ヲ今ヨリ打明クル必要モナカルヘシ仮令支那政府ニ問合ハストモ彼ニ都合好キ点ノミヲ告ケテ真相ヲ正確ニ知り得ル見込ナキヲヤ此点御再考ヲ望ム

末段他國ト提携ノ利害ニ就テハ既ニ英米独等主要ナル貿易國カ各自单独ニ同意ヲ表シタル以上列國協同ノ利益ヲ收ムルコトハ到底望ムヘカラス又条件ヲ附シテ同意シ又ハ同意セントスル國ト雖其条件ハ我レノ夫レト頗ル懸隔シ居ルヘキニ付之ト提携スルモ別段利益ニアラサルヘシト存ス

一九三 二月十五日

在天津窪田總領事ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

中国關稅改修ニ当リ税目ノ精密ナル区分ノ必

要等ニ関シ意見具申ノ件

第一号

在支公使宛貴電第七七号ノ趣ニ依レハ支那政府カ今回關稅

一九四 二月十六日

牧野外務大臣ヨリ
在中国山座公使宛(電報)

中国關稅改修提議ニ対スル露僑等ノ回答振中

國政府ヘ問合方訓令ノ件

第八九号

貴電第一四一号ノ趣了承支那政府ニ対シ兎ニ角貴官ヨリ露僑等ノ國ヨリ如何ナル返答アリシヤヲ便宜御聞合ノ上電報アリタシ

一九五 二月十六日

在上海有吉總領事ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

中国關稅改修ノ提議受諾ノ条件タル中国内地

製造品ニ対スル製造稅賦課ノ案ニ付意見稟申

ノ件

第五号

山座公使宛貴電ニ関シ第一項製造稅賦課方ノ件ハ現ニ支那内地ニ紡績其他工場ヲ有スル外國人及本邦人ハ必ス之ニ対シ異議ヲ唱フルヘク日支議定書第三條ニ支那ノ課稅權ヲ認メタル際時ノ總理衙門及鎮江道台等カ支那產綿糸ニ重稅ヲ課セントシタルトキ上海商業會議所ハ在留外國人ノ意見ヲ

六 中国輸入税率改正一件 一九四 一九五 一九六

ヲ改正シテ現實五分トナスニ當リ高キ關稅ノ圧力ヲ以テ我商品ノ輸入ヲ押ヘ其競争品ヲ製造スル支那内地工業ノ發達ヲ計ルコト即チ保護政策ヲ取ルヲ予防スルノ点ニ付テハ申添フヘキコトナケレドモ右ノ外当分ハ支那ニ於テハ競争品出現ノ虞ナキモ支那市場ニ於テ外國商品トノ競争上從來我商品ノ蒙リ居レル不便アリ即チ從量稅ニ依ルモノ、内同一品種ニハ屬スレトモ欧米品ハ高價ナル精製品ニシテ我商品ハ廉價ナル粗惡品ナルニ拘ハラズ同一稅率ヲ課セラル、為メ其ノ實價ニ対スル稅率比例上過重稅スヘキ例鮮ナカラス故ニ此ノ機ニ於テ現實五分ノ精神ヲ貫徹スル理由ヲ以テ此点ヲ匡正シ各貨物ノ品質價格ニ応シテ成ルベク精密ナル稅目ヲ設ケシムルノ要アルヘシ又現在支那各地方ノ稅關ヲ通シテ十分ノ智識ヲ有スル鑑定家ニ乏シキ為メ我商人ニシテ不當ノ鑑定ノ為メニ苦シメラルル例鮮ナカサレバ假令前記稅目ヲ設定セシムルトモ現狀ノ儘ニテハ其ノ運用上信用ヲ置キ難キニ付此点モ併セテ匡正セシムルヲ得ハ我方ノ為メ利益ナラント信ス

公使濟

代表シ其ノ不當ヲ鳴ラシ同議定書ノ規定ハ要スルニ下ノ關條約第六條第四項ノ一部分タル製造品無稅ノ件ヲ廢除シタルニ止マリ而カモ其廢除ハ既往ニ遡リ得サルハ勿論ニシテ既得ニ係ル無稅製造ノ特權ヲ剝奪スルヲ得ストシ反對運動ヲ試ミタル結果右課稅ハ事實沙汰止ミトナリタル歴史モアリ此点ニ付テハ御研究ノ末ト存スルモ他ヨリ反對ノ恐アル提議ハ寧口之ヲ避ケ製造稅ノ代リニ支那内地製造品ニシテ現ニ從量稅ノ適用ヲ受ケ居ルモノノ輸出稅ヲ輸入稅ト同率ニ引上ケシムルコト(二月二日付通機密拙信参照)実行容易ニシテ而モ競争程度ヲ輕減スル上ニ有効ナリト存ス御參考迄

公使濟

一九六 二月二十六日

在中国山座公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

中国關稅改修提議ニ対スル我方ノ回答案ニ付

意見回申ノ件

第一七〇号

貴電第七六号及第七七号御申越ノ方針及条件大体ニ於テ異存ナキモ我提出スヘキ条件ハ關稅改修ノ「ディテール」ニ

六 中国輸入税率改正一件 一九七 一九八

関スルモノニ非ズシテ根本主義ニ涉リ之ヲ附帯条件トハ云ヒ難キニ付支那政府ニ与フル回答ハ「帝國政府ハ一定ノ条件ノ下ニ支那政府ノ提議ニ係ル関稅改修ニ同意ス其条件ハ追テ提示スヘシ」トノ趣意ト為ス方可然又製造稅ニ付テハ有吉懸念ノ如キ反對運動ノ起ルコト免カレサルヘキニ付若シ輸出稅引上ガ生産地以外ニ對シテハ製造稅ト同様ノ効果アリ且反對運動ノ懸念モ渺カラントノ見込ナレハ同官ノ提案御採用アルモ可ナラント思ハル尤有吉ノ二月二日附機密信寫ハ当館ニ無之ニ付早速取寄セ研究ノ上意見アラハ更ニ申進スヘシ

窪田ノ提議ハ往電第四九号本使稟申ノ趣旨ト同シケレト尚熟考スルニ義和團事件後 effective five per cent 実行ニ關スル上海會議ノ際ニ classification ヲ増シタル実例モアルニ付此際条件トシテ提出スルヨリ後日ノ交渉ニ讓ル方便宜ナルヘシ本省案中ニハ頗ル峻嚴且広汎ニシテ目下ノ狀況ニ照ラシ到底貫徹ノ見込ナキ様思ハルモノモ含マレ居ルモ先ツ之ヲ基礎トシ支那政府ニ交渉スルコト可然ト思考ス

一九七 三月五日 在中国山座公使ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

中国ノ関稅改修要求ニ對スル我方ノ方針ニ付
意見回示ノ件

官秘第七二号

大正三年三月十四日

大藏大臣男爵 高橋 是 清(印)

外務大臣男爵 牧野伸顯殿

客月二十七日付機密送第二九号ヲ以テ御申越之趣了承支那ニ於ケル関稅ノ改修ハ本邦ノ貿易ニ打撃ヲ与フルニ至ルベク殊ニ我國ト支那トノ通商關係ハ他ノ列國ト事情ヲ異ニシ其影響ノ一層深甚ナルヘキハ誠ニ御同感ニ御座候乍去此際對支政策ノ大局ヨリ打算シテ支那ノ要求ニ応諾スルノ已ムヲ得サル儀ニ有之候ハハ御照會ノ通り条件ヲ附シ吾貿易上ノ影響ヲ緩和セシムルノ方法ヲ採ルハ必要ノ儀ト存候
右及御回答候也

註 二月二十七日附牧野外務大臣發高橋大藏大臣宛通機密送第二九号ハ省略セリ右ハ中国ノ関稅改修ノ要求ヲ主義ニ於テ應諾シ一定ノ条件(前出二月十一日山座公使宛第七七号電報ノ条件ト同ジ)ヲ附スルコトニ付意見ヲ問合セタルモノナリ

六 中国輸入税率改正一件 一九九 二〇〇

三三二

中国関稅改修提議ニ對スル露仏等各國ノ回答
ニ關スル曹外交次長ノ談報告ノ件

第一九四号

貴電第一〇九号ニ關シ三月五日松平ヲシテ他用ノ序ヲ以テ曹汝霖ニ尋ネシメタル処曹ハ露国外務大臣ハ在露支那公使ニ對シ関稅改修ニハ主義上異存ナキモ且下取調中ノ事アルニ付追テ回答スヘキ旨語リタルコトアルモ今日迄正式ノ回答ニハ接セス仏国公使ヨリハ革命損害賠償ヲ速ニ仕払フヘキコトヲ条件トシテ主義上同意ノ旨回答アリ其他諸國ヨリハ悉ク同意ノ旨返答アリ何レモ条件ヲ附シ居ラサル由ヲ語リ尚仏國回答中ニハ其他ノ条件ヲモ附シアリシヤトノ松平ノ問ニ對シ曹ハ他ニ何等条件ナキ旨ヲ答ヘ尚仏國ノ条件ハ関稅改修ニハ何等關係ナキコトナリトテ苦情ヲ述ヘタル由ナリ

三月五日後一〇、三〇北京發

註 三月二日牧野外務大臣發往電第一〇九号ヲ省略ス該電信ハ前出外務大臣往電第八九号ニ關シ督促シタルモノナリ

一九八 三月十四日 高橋大藏大臣ヨリ
牧野外務大臣宛

一九九 四月二日 在本邦中国公使ヨリ
牧野外務大臣宛

中国輸入稅改修ニ關シ日本側ノ急速ナル同意
ヲ希望ノ件

外甲字第十九號

(四月四日接受)

敬啓者我國進口稅則擬加修正事經於舊年十一月六日備函照會在案茲復接奉本國政府電開此事待決甚急應即切實商請日本政府顧全睦誼從速贊同等因爲此函請

貴大臣查照辦理并希

見鑒爲荷專此順頌

日社

日本外務大臣男爵牧野伸顯閣下

中華民國特任全權公使陸宗輿(印)

中華民國三年四月二日

二〇〇 四月十日 在ボンベイ内藤領事館事務代理ヨリ
牧野外務大臣宛

中国関稅率改修問題ニ對スル印度紡績業者ノ

態度報告ノ件

機密第六号 (五月十四日接受)

三三三

大正三年四月十日

在孟買領事館事務代理

外務書記生 内 藤 一

外務大臣男爵 牧野伸顯殿

本件ニ関シテハ曩ニ本年三月九日附機密第四号ヲ以テ及報告置候処其後当地紡績業者ノ態度ニハ特別ノ變動無之本月七日当業者一同相会シ本問題ニ就キ協議ヲ試ミタルモ熟議ヲ遂クルニ至ラズ直ニ委員附托ニ決シ散会シタル由ニテ畢竟スルニ当地当業者ハ本問題ニ対シ余リ氣乗リセサル有様ニ有之候其理由ハ数多複雑ナル事情ニ基ツクコトト存候ヘ共大略左ノ如キモノカト存候

一、印度棉糸ハ支那市場ニ於テ年々日本棉糸ノ為ニ不勘打撃ヲ受ケ漸次同市場ヨリ駆逐サレントスルノ勢ナリ從テ印度紡績業者ハ同市場ニ於テハ到底日本品ト拮抗シ得サルモノト諦メ支那貿易ヲ悲觀シ其結果近來販路ヲ漸次他方面ニ開拓セントスルノ傾向アリ、然ラハ其他方面トハ何処ヲ指スモノナリヤト云フニ即チ当国ノ内地之レナリ蓋シ由來当国ノ内地ハ専ラ英國品ノ跋扈ニ委セラレツツアル有様ナルヲ以テ此方面ニ於テハ充分其販路ヲ開拓

リ、又或者ハ支那関税率改修問題ノ如キ國際間ノ事件ニ関シテハ紡績聯合会ノ如キ一小団体カタトヒ反對運動ヲ試ミルモ其効果ナカルヘク、該問題ヲ列国ニ於テ承認スルモノナラハ致方ナキ次第ナリト諦メ居ルモノモアリ或ハ又印度棉糸ハ香港ニ陸揚セラルルニ於テハ支那関税率引上ノ為メ格別影響ヲ被ラズナド揚言スルモノモアリ、察スルニ彼等ノ意中ハ日本棉糸ガ支那市場ニ於テ其勢ヲ逞フスルヲ嫉妬シ居ルモノノ如ク從テ彼等ノ中ニハ今回本問題ニ対シ反對運動ヲ試ミルカ如キハ徒ラニ日本紡績業者ヲノミ利スルノ拳ナリト解シ居ル者モアルガ如シ故ニ前記委員会カ此後果シテ如何ナル行動ニ出ツルヤ未タ分明致サス候ヘ共格別ノ活動ヲナスコトモ可無之歟ト存セラレ候

此段報告申進候 敬具

二〇一 四月十一日 山本農商務大臣ヨリ
牧野外務大臣宛

中国ノ関稅改修ノ要求ニ対スル我方ノ方針ニ

付意見回示ノ件

附屬書 中国関稅改修提議應諾ノ附帶條件

六 中国輸入税率改正一件 二〇一

シ得ヘキ見込ナリト云フ

当地紡績業者ハ凡テ純然タル工業家ニシテ専ラ棉糸布ノ製造ニノミ従事シ、原棉ノ買入レ、生産ノ増減、製品ノ販売等ハ会社自身ノ經理スル処ニアラスシテ全ク会社ト独立シタル「エゼント」ノ經營スル処ナリ、サレハ会社ノ利益ノ大半ハ該「エゼント」ノ壟斷スル処（尤モ「エゼント」ハ会社ノ株主ノ一人ナルヲ普通トスルモ自己ノ利益ノ為メニハ会社ノ利益ヲ犠牲ニ供スルノ常ナリ）ナルヲ以テ会社自身ノ利益ハ頗ル輕微ニシテ配当ハ平均七八朱以上ニ上ラス故ニ当地紡績業者ハ進シテ支那市場ニ於テ日本品ト競争シ類勢ヲ挽回スル丈ノ勇氣モナク、又ヨシ競争シテモ實際勝算ナキヤニ思ハルルヲ以テ彼等カ支那貿易ヲ悲觀スルモ亦已ムヲ得サル次第ナリ

二、是レ迄印度棉糸ノ勁敵ハ全ク日本棉糸ニ在リキ從テ当地紡績業者ハ其經驗ニ基ツキ日本棉糸ノ恐ルヘキヲ知ルモ支那内地ノ工業ニ付テハ左迄重キヲ置カズ、サレバ今回支那関税率ガ引上ケラルルトスルモ印度棉糸モ日本棉糸ト同様一率ニ課稅セラルルニ於テハ從前ニ比シ格別印度棉糸ノミノ打撃ニハアラサルヘシト論スルモノモア

商第三三六八号

（四月十三日接受）

大正三年四月十一日

農商務大臣 山 本 達 雄（印）

外務大臣男爵 牧野伸顯殿

客月廿七日付通機密送第二二一^(註)号ヲ以テ支那関稅改修提議ノ件ニ関シ御照会ノ趣了承支那政府ノ提議ニ対シ条件附ヲ以テ主義上ノ同意ヲ表スルノ御方針ニ就テハ異議無之候ヘ共当省ニ於テハ右附帶條件トシテ別紙甲号事項ヲ提出シタキ希望ニ有之若シ交渉ノ結果已ムヲ得サル場合ニ於テハ乙号事項ヲ提出致度同時ニ右条件ノ外ニ此ノ機会ニ於テ支那政府ニ対シ別紙丙号ノ如キ事項ヲモ要求シ置クヲ適當ト考ヘ候条右ノ御含ヲ以テ可然御配慮相煩度此段及回答候也

註 二月二十七日附通機密送第二二一^(註)号ハ同日附大藏大臣宛通機密送第二九号ト同文ナリ其ノ内容ニ付テハ前出三月十四日高橋大藏大臣宛牧野外務大臣宛^{官房}秘第七二号ノ註参照

（附屬書）

中国関稅改修提議應諾ノ附帶條件（甲、乙、

丙号）

甲 号

条件トシテ提出スヘキ事項

支那ニ於テ製造セラルル機械製洋式貨物ニハ現実從価五分ニ相当スル輸出税又ハ同額ノ製造税ヲ課スルコト
右輸出税ハ生産地ヨリ支那沿岸又ハ内地（芝罘条約ニ所
謂内地ノ意）ノ一地方ニ輸送スル貨物ニ対シテモ其運具船舶ノ如何ニ拘ラス一律ニ之ヲ課スルコト但從來此等貨物ニ対シテ課スル沿岸貿易税ハ之ヲ免除スルモ妨ケナシ
開港地及其附近ニ於テ生産スル貨物ノ輸出税及製造税ハ海關又ハ海關ノ管理ニ属スル常關ニ於テ之ヲ徴収スルコト
支那政府ハ前記各項ノ規定ヲ變更シ又ハ之ヲ無効ニ歸セシムヘキ何等ノ措施ヲナスコトヲ得ス

乙 号

条件トシテ提出スヘキ事項

何等ノ形式ヲ以テスルモ現行輸出税ノ更改ニ対シテハ日本ト協定スルコト
厘金其ノ他内地通過税ニ関シテハ支那機械製洋式貨物ヨリ不利益ナル待遇ヲ同種輸入外国品ニ与ヘザルコト
丙 号

条件ノ外ニ此機會ニ於テ支那政府ニ要求ス

第四号

貴電第四号ニ関シ四月七日当地紡績業者相会シ支那関税問題ニ付協議ノ結果直ニ委員附托ニ決シ散会シタリ右委員ノ行動ニ関シテハ調査中ナルモ今日迄集會ヲ為ササルハ明カナリ畢竟當業者ハ本問題ニ付テハ氣乗りセサル有様ニテ其ノ理由ハ要スルニ是迄印度綿糸ハ市場ニ於テ日本品ノタメ尠ナカラサル打撃ヲ蒙リタルヲ以テ彼等ハ我紡績ヲ以テ唯一ノ強敵ト見做シ居ルコト又當業者中ニハ近來支那市場ヲ悲觀シ漸次販路ヲ当国内地ニ於テ開拓セントスル傾アルニ付本問題ヲ重要視セサルタメナリ故ニ今後モ当局者ニ陳情ヲナスコトナトハアルヘキモ格別盛ナル反對運動ノ起ルヘシトハ思ハレス委細四月十日付機密信ヲ以テ郵報濟

二〇四 四月三十日 加藤外務大臣ヨリ
在中国山座公使宛（電報）

中国関税改修ノ要求応諾ノ条件更改案ニ付意

見問合ノ件

別 電 同日加藤外務大臣兎山座公使宛電報第二二六号
右更改案

第二一五号

六 中国輸入税率改正一件 二〇四

ヘキ事項

一、支那政府ハ我邦ニ対シ貨幣制度ノ創設、度量衡ノ改定及商標法ノ制定其ノ他条約上ノ義務アルニ拘ラス之カ実行ヲ怠レルヲ以テ此ノ際同政府ニ対シ是等ノ義務ノ履行ヲ強要スルコト

二、輸出入貨物ニ対シ從來屢々起レル不法課税ノ矯正方法並ニ輸出入貨物取扱手續ノ改善ヲ講セシムルコト

二〇二 四月二十二日

加藤外務大臣ヨリ
在ボンベイ内藤領事館事務代理宛
（電報）

中国ノ輸入税改正要求ニ対スル印度紡績業者ノ反對運動ニ付問合ノ件

第四号

貴信機密第四号ニ関シ其後印度紡績業者ニ於テ何等反對運動協議中ナル旨或筋ニ入電アリタル趣ナル処右真相取調電報アレ

二〇三 四月二十三日

在ボンベイ内藤領事館事務代理ヨリ
加藤外務大臣宛（電報）

印度紡績業者ノ中国関税改修問題ニ対スル態度ニ付報告ノ件

往電第七七号ノ条件ハ関税改修問題其者ニ対スル条件トシテハ至当ナランモ日支關係ノ大局ヨリ觀察スルトキハ尚再考ノ余地アルヤニ思ハル尤モ我輸出業者ノ利害ヲ無視スヘカラサルハ勿論ニ付条件ハ我主ナル輸出品ノ立場ヲ從來ニ比シ劣等ノ地位ニ置カサルヲ主眼トシ之ニ条約勵行ノ趣旨ヲ加味シ別電第二一六号ノ通變更セントス右ニ対スル貴見電報アレ

（別 電）

四月三十日加藤外務大臣兎在中国山座公使宛

電報

中国関税改修要求応諾ノ条件ノ更改案

第二一六号（別電）

第一 原案ノ第三其儘

第二 大体原案第四ノ通りナルモ（一）ノ内原包装ノ變更及ヒ分割販売ニ関スル部分ヲ删除シ其他ノ個所ニモ多少ノ變更アリ

第三 原案ノ第一但シ製造税ノ次ニ（又ハ移出税）ノ五字ヲ加フ

第四 現ニ從量税ヲ賦課セラルル外国輸入品ノ内地輸送ニ

六 中国輸入税率改正一件 二〇五

對シ課セラルル抵代税ハ現在ノ高ニ据置クコト
以上

二〇五 五月一日 加藤外務大臣ヨリ
在中国山座公使宛

中国関税改修應諾ノ我方条件ノ更改ニ付説明
ノ件

附屬書 更改条件案

通機密送第一一九号

本件ニ関シ曩ニ往電第七七号ヲ以テ及電報候条件ハ関税改修問題其者ノミヲ見テノ条件トシテハ至当ナランモ日支關係ノ大局ヨリ觀察スルニ於テハ尚再考ノ余地アルヤニ思考セラレ候則チ我ニ於テ此機ヲ利用シ我輸入品ヲ從來ヨリモ優レル地位ニ置カントシ余リニ困難ナル条件ヲ提出スルニ於テハ支那ハ其提議ニ對シ早クモ同意ヲ表セル列國ノ態度ニ比較シ我ニ對シ必ス大ナル反感ヲ抱クヘク為ニ日本ハ一部輸出業者ノ利益ヲ擁護スル為他ノ一般關係ニ於テ意外ノ損失ヲ招クコトナキヲ保シ難キノミナラス列國亦我ニ對シ好感ヲ寄セサルヘシト懸念セラレ候尤モ之カ為全然我輸出業者ノ利害ヲ無視スヘカラサルハ勿論ニ付我ヨリ提出スヘ

第二、輸出入貨物ニ對スル左記不法課税ノ矯正及ヒ取扱ノ

改善ヲ関税改修ニ先立チ実行スルコト

(一)輸入品ニ對スル不法課税ノ矯正、条約ヲ勵行シ輸入税納付済ノ貨物カ開港場間ニ、又輸入税及抵代税納付済ノ貨物カ内地ニ販運セラル、場合ニ於テ一切ノ内国税ヲ課セス其他何等ノ負担ヲ命スヘカラサルコト

右貨物カ支那人ノ手ニ移リタル場合ニ於テモ亦同様タルヘキコト

(二)輸出品ニ對スル不法課税ノ矯正、条約ヲ勵行シ条約國商人カ三聯單ニヨリ買出シタル支那品ニ對シ輸出税及ヒ抵代税以外何等ノ内国税ヲ課セス其他何等ノ負担ヲ命スヘカラサルコト

(三)輸出入品ニ對スル取扱ノ改善、三聯單、子口單及免稅單ノ發給其他輸出入品ニ關スル現行諸規則ヲ条約ノ規定ニ適合スル様改正シ且ツ三聯單若ハ子口單ニヨラサル輸出入品ニ對スル厘金其他ノ内国税ニ關スル手續ヲ改良シ条約國商人ヲシテ不当ノ負担ト不便トヲ免カレシムルノ方法ヲ立テ条約國ノ同意ヲ經テ

六 中国輸入税率改正一件 二〇六

キ条件ハ我主ナル輸出品ノ立場ヲ從來ニ比シ劣等ノ地位ニ置カサルヲ主眼トシ即チ別紙条件第三ノ通り支那ニ於テ製造セラルル機械製洋式貨物ニ對シ同種ノ輸入品カ關税ノ改修ニヨリテ被ルヘキ輸入税ノ増加額ニ均シキ製造税又ハ移出税(製造地ヨリ船舶又ハ汽車ニテ支那國內ノ他ノ場所ヘ運出スル際ニ課税スル趣旨ナリ)ヲ賦課セシムルコトトシ右兩税ノ撰採ハ一ニ支那側ノ便宜ニ任セ之ニ從來支那ニ於テ履行ヲ怠リ居ル条約ノ勵行ニ關スル条件ヲ加ヘ即チ条件第一トシテ商標法ノ實施同シク第二トシテ輸出入貨物ニ對スル不法課税ノ矯正及取扱ノ改善ヲ求メ最後ニ条件第四トシテ從量税ヲ賦課セラルル外國品ニ對シ輸入税ヲ基礎トシテ算出スヘキ抵代税ハ現在ノ高ニ据置クコトヲ求メ原案第二条件ハ全然削除スルコトトシ右ニ關スル貴官ノ御意見ヲ電問シタル次第ニ有之候依テ別紙更改条件案(為念往電第七七七号条件共)相添ヘ右電報説明旁此段申進候也

註 添附ノ往電第七七号条件前出ニ付省略ス

(附屬書)

更改条件案

第一、支那商標法ヲ関税改修ニ先立チ制定實施スルコト

特ニ規則ヲ發布スルコト

第三、支那ニ於テ製造セラル、機械製洋式貨物ニ對シ同種ノ輸入機械製品カ關税ノ改修ニヨリテ被ルヘキ輸入税ノ増加額ニ均シキ製造税又ハ移出税ヲ賦課若ハ増徴スルコト

但シ如何ナル方法ヲ以テスルヲ問ハス事実上本項ノ条件ヲ變更シ若ハ無効ニ歸セシムヘキ何等ノ施措ヲナサ、ルコト万一如斯施措ニ出テタルトキハ同種ノ輸入品ハ直ニ之ト同様ノ利益ヲ享受スヘキコト

第四、現ニ從量税ヲ賦課セラル、外國輸入品ノ内地輸送ニ對シ課セラル、抵代税ハ現在ノ高ニ据置クコト

二〇六 五月六日 在中国山座公使ヨリ
加藤外務大臣宛

中国関税改修提議應諾ニ關スル我方ノ更改条件ニ付意見具申ノ件

附屬書 右意見

機密第一九三号

(五月十一日接受)

本件ニ關シ貴電第二一六号去月三十日接到種々研究ノ結果電信ニ付スル積リニテ別紙ノ通り起草致候得共余リ長文ニ

涉リ去リトテ之ヲ省略シテ電信ニ附セントスルモ意ヲ尽ササル節有之候ノミナラズ却ツテ誤解ヲ来スノ虞有之候ニ付電文体ノ儘爰ニ附郵致候間御査閲相成度候也

(附屬書)

中国関税改修提議応諾ノ我方更改条件ニ関ス

ル意見

貴電第二一六号ニ関シ関税改修問題ニ就テハ是迄意見上申ノ次第モ有之タル処其後尚熟考ヲ重ヌルニ他ノ列国ハ悉ク同意ナルニ(露国公使ハ代償ヲ求ムルコトアル可キ意思ヲ洩セルモ結局ハ国境貿易税率据置キノ主張ニ止マル可ク仏国ハ関税改修其モノニハ異存ナシ)我邦独リ条件ヲ提出シ之ヲBlockスルカ如キ結果ヲ生スルコトハ我全体ノ利益ニ鑑ミ甚タ不得策ナルヲ以テ出来得可クンハ寧ロ英断ヲ以テ無条件ニテ支那政府ノ提議ニ応セラルルコト素ヨリ望マシキモ若シ到底出来難ギニ於テハ我カ条件ハ可成丈ケ軽減シ結局双方ノ協議成立シ得ル程度ニ止メラレンコト事宜ニ適ス可シト存ズ

貴電御来示ノ主旨ニ加ヘ右ノ見地ヨリシテ貴案ニ対シ左ノ通り卑見申述ブ

第二 原案第四中御削除ノ点至極賛成但シ貨物カ支那人ノ手ニ移リタル上ノ課税禁止ハ尚ホ維持セラレ居ル様考ヘラルル処右ハ實際ニ於テ不可能ナル可キニ付是亦削除アリタク且ツ同項中一切ノ内国税ヲ課セス云々ハ貨物カ開港場ヨリ内地ノ仕向ケ先キニ運搬中ノコトト解ス若シ然ラズシテ仕向ケ先キニ到着後殊ニ支那人ノ手ニ移リタル上賦課サレツツアル落地税其他一切ノ内国税ヲモ免除セシムル御主意ナルニ於テハ支那政府ハ関税改修ノ為メ却ツテ多大ナル収入ノ減少ヲ招ク可キノミナラス彼等ハ現実五分ニ改修ノ上早晚進ンテMacarty条約通り内地税一切ヲ廃シ関税及附加税ヲ原価ノ一割二分五厘ニ引上クル意向ヲ有スルヲ以テ単ニ現実五分ニ改修ノ為メ内地税一切ヲ廃止スルコトハ無論其同意スル処ニアラザル可シ且ツ日支通商航海条約第十一条第一項末段ニハ一切ノ内地税ヲ免スルコトヲ規定セルモ其前文ヨリ通読スル時ハ右ハ貨物カ仕向ケ地ニ到達スル迄ノ諸税ト解スル方穩当ナリト思考ス尤モ此解釈ハ從來本省ノ執ラレタル処ト異ナルニ付篤ト御考量ヲ乞フ

第三 製造税又ハ移出税トハ兩者ノ内何レニテモ可ナル御

第一 商標法ニ関スルコトハ条件中ヨリ削除シタク已ムナクンハ原案第三「支那商標法」ノ前ニ「日支追加通商航海条約第五条ノ規定ニ遵ヒ適當ナル」ノ二十三字ヲ加ヘ之ヲ条件ノ最後ニ置クコト

外交部ハ四月二十九日附公文ヲ以テ農商部ノ立案ニ係ル商標条例ヲ首席公使ニ送り至急大總統ノ裁可ヲ得之ヲ發布スル為メ右日附ヨリ一ヶ月以内ニ外交団ノ意見ヲ回示センコトヲ請求シ来レリ故ニ簡單ニ原案第三ノ儘条件トシテ之ヲ提出スルコトハ其処ヲ得ザルコトナレルノミナラズ商標法ハ其性質ニ於テ関税改修ト何等關係ナク而カモ支那政府ニ於テ新タニ草案ヲ提出シ来リタルニ付キテハ早晚確定ス可キニヨリ本項ハ寧ロ削除スル方然ル可ク尤モ右条例草案ハ只今入手シタル儘ニテ十分研究ノ暇ナキモ(大体我カ商標法ノ反訳ナリ)日支追加通商航海条約第五条第一項ノ規定ニ基キ明治三十七年制定ノ支那商標登録仮規則ニ認メタル外国ニ於テ登録済商標ノ優先權ヲ認メ居ラス其他ニモ修正ヲ要スル点有之ル可キニ付已ムナクンハ前記ノ如キ一句ヲ加ヘ劈頭第一ノ条件ト為サズシテ之ヲ最後ニ置クコト然ル可シ

主意ナリヤ若シ然ラズシテ陸路内地ニ運搬セラルルモノハ製造税ヲ海關經由輸出ノ場合ニハ移出税ヲ課セシムル御主意ナラバ製造税ト云ハンヨリ厘金税ト云フ方適當ナル可シ

第四 抵代税据置キノコトハ支那製造品トノ競争上我主要輸出品ノ立場ヲ現在ヨリ不利ナラシメザル御主意ニ出テタルコトト存スルモ支那ニ於テ製造サレザル種類ノ機械製輸入品其他一切ノ從量税輸入品ニ対スル抵代税ヲ現在ノ儘据置カシムルコトハ右ノ主義以外ニ超脱シ左レバトテ從量税品中ニ區別ヲ設クルコトモ不適當ナリ翻ツテ本省ノ調査ニ拠ルニ(二月二十八日附機密第五七号来信)紡績糸等我カ重要輸出品カ関税改修ノ為メ負担ヲ加フ可キハ從価ノ約一分四厘ナル由ナレハ其抵代税ノ増加ハ僅カニ七厘ニ過キサル可ク此レ位ノ増率ノ為メ支那内地製品トノ競争ニ堪ヘズトアリテハ本邦紡績糸等ノ運命ハ実ニ寒心ノ至リニシテ實際左程ニモアラザル可ク且ツ抵代税ハ増減共ニ常ニ関税ノ二分ノ一ナル可キハ動カス可カラサル原則ナルカノ如ク一般ニ感セラレ居ルモノナルニ付第四ハ寧ロ削除セラルル方然ル可キニアラサル乎若シ

已ミ難キ次第アリテ前陳ノ主義ヲ一貫セラルコト必要ナラバ第三ニ述ヘタル支那製洋式品ノ厘金及ヒ移出税ニ抵代税ノ増加額ヲ加ヘシムルコト寧ロ適當ナル様考ヘラル

終リニ原案第二ハ削除セラレタルモノノ如ク至極御尤ト存ズ

二〇七 五月十四日 在ボンベイ内藤領事館事務代理ヨリ
加藤外務大臣宛

印度紡績業者ハ中国関税率改修ニ反対セザル
コトヲ決定セシ旨報告ノ件

機密第七号

客月十日附機密第六号ヲ以テ申進候通り支那関税率修正問題ニ対シテハ当地紡績業者ハ一般ニ氣乗リセサル有様ニテ委員会ニ於テモ其後久シク何等ノ協議モ行ハサルニ付或ハ流会トナリタリナド噂サルル程ナリシ処過日漸ク其開会ヲ催シタル趣聞込ミ候ニ付昨十三日紡績聯合會書記長ヲ訪問シ問合ハセ候処支那関税率修正方ニ関スル同国ノ提議ハ相当理由アルモノノ如ク又印度棉糸ハ之カ為ニ突然大打撃ヲ蒙ル訳ニモアラサルベケレハ当地紡績業者トシテハ該提議

ニ反対シ得ヘキ筋合ノモノニアラサルヘシト委員會ニテ申合ハセタル由又本問題ニ付テハ過般当国政府ヨリモ同聯合會ノ意見ヲ徴シ来リタルニ付同會ニ於テハ右委員會ノ意見通り答申シタル趣同書記長ハ答弁致候

当地紡績業者カスノ如ク支那ノ提議ヲ是認シ何等反対ガマシキ行動ヲ試ミサルハ聊カ異様ニ感セラレ候ヘ共其裏面ニハ客月十日附機密第六号ヲ以テ申進候通り種々複雑シタル事情モ有之候次第ニテ将来益支那市場ニ發展シ同市場ヲ以テ最有望ノ荷捌キ地ト見做ス本邦紡績業者トハ多少其見解ヲ異ニスル処アルヤニ認メラレ候右ハ昨十三日拙電第五号ヲ以テ不取敢報告致置候
此段報告申進候 敬具

二〇八 五月十五日 大日本紡績聯合會山辺委員長ヨリ
加藤外務大臣宛

中国輸入税率改修ハ絶対ニ拒否アリタキ旨請願ノ件

請願書

曩ニ支那政府ヨリ提議セル同国輸入税率改修ノ認容ハ我国對支貿易ヲ阻碍シ本邦紡績事業ノ盛衰ヲ将来スル大問題ナ

シ附スベキ条件及要求事項ニ関スル件

支那ノ輸入税ヲ現実五分ニ改修スルノ提議ニ対シ左ノ条件ヲ附シ之ニ応セントス

条件

現在及将来ニ於ケル各種課税上其他一切ノ特權特典利益及ヒ免除ニ関シ支那ニ於テ製造セラルル機械製洋式貨物ヨリ不利益ナル待遇ヲ同種ノ輸入外国貨物ニ与ヘサルコト

条件以外ノ要求事項

第一 支那商標法ヲ速ニ制定実施スルコト

第二 輸出入貨物ニ対スル左記不法課税ノ矯正及取扱ノ改善ヲ速ニ実行スルコト

(一) 輸入品ニ対スル不法課税ノ矯正

条約ヲ勵行シ輸入税納付済ノ貨物カ開港場間ニ、又輸入税及抵代税納付済ノ貨物カ内地ニ販運セラルル場合ニ於テ一切ノ内国税ヲ課セス其他何等ノ負担ヲ命スヘカラサルコト

(二) 輸出品ニ対スル不法課税ノ矯正

条約ヲ勵行シ条約国商人カ三聯單ニヨリ買出シタル支那品ニ対シ輸出税及抵代税以外何等ノ内国税ヲ課セス

ルヲ以テ具ニ之レガ反対ノ事由ヲ披陳シ絶対ニ拒否セラルル様既ニ請願及再次候処爾後數月政變ヲ經テ未タ御決定ニ至ラサルヤニ伝承致候然ルニ我紡績業ハ東洋工業ノ巨擘ニシテ理当サニ大ニ其發達ヲ期セサルベカラズ候得バ本邦輸出品ノ大宗タル綿糸綿布ノ如キ我国ニ於ケル主要産業ニ對シ其基礎ヲ危フスルノ虞アル特種税目改修ニ付キテハ特ニ審議ヲ遂ケサセラレ商工立国ノ上ヨリ断然峻拒相成度熱望ニ不堪候幸ニ本邦斯業ノ実状ニ就キ台鑒ヲ垂サセラレ永遠ニ日支間ノ貿易關係ヲ円滑ニシ国富ノ増進ニ資スルヲ得セシメラレ候得バ独リ我綿業者ノ至慶ナルノミナラズ亦以テ國家ノ福祉タルヲ疑ハズ候茲ニ全国紡績業者ヲ代表シ重テ及請願候也

大正三年五月十五日

大日本紡績聯合會

委員長 山 辺 丈 夫(印)

外務大臣男爵、加藤高明殿

二〇九 五月二十八日 閣議決定

中国輸入税ヲ現実五分ニ改修ノ提議応諾ニ際

六 中国輸入税率改正一件 二一〇

其他何等ノ負担ヲ命スヘカラサルコト

(三)輸出入品ニ対スル取扱ノ改善

三聯単、子口單及免稅單ノ發給其他輸出入品ニ關スル現行諸規則ヲ條約ノ規定ニ適合スル様改正シ且ツ三聯單若ハ子口單ニヨラサル輸出入品ニ対スル厘金其他ノ内國稅ニ關スル手續ヲ改良シ條約國商人ヲシテ不当ノ負担ト不便トヲ免カレシムルノ方法ヲ立テ條約國ノ同意ヲ經テ特ニ規則ヲ發布スルコト

(欄外註記)

「大正三年五月二十八日閣議決定」

二一〇 五月二十九日

加藤外務大臣ヨリ
小幡公使館一等書記官宛(註一)

中国關稅改修ノ提議ニ対スル日本政府ノ回答

中国政府ヘ提出方訓令ノ件

機密号外

曩ニ支那政府ノ提議ニ係ル同國關稅ヲ現實五分ニ改修スルノ件ニ關シ貴官着任ノ上左ノ通り支那政府ヘ御回答相成度候

帝國政府ハ今日ノ場合條約上本件ノ商議ニ応スヘキ何等

応諾条件ノ英訳文

In all that concerns any privilege, favor, advantage, or exemption in the matter of internal taxation of every kind and in all other matters, which are now or may hereafter be accorded by China, to or in favor of machine-made goods in foreign style manufactured in China, no less favorable treatment shall likewise be accorded to foreign made goods of the same or similar style, when imported into China.

二一一 六月十一日

加藤外務大臣ヨリ
在中國小幡臨時代理公使宛

中国關稅改修ニ關スル我条件説明書送付ノ件

附屬書 右説明書

通機密送第一七〇号

本件ニ關シ貴電第四四四号ヲ以テ御申越ノ趣了承我条件ノ内容ニ付テハ貴官赴任ノ際坂田通商局長ヨリ一々必要ノ説明ヲ与ヘタル筈ニ有之候モ急遽御出発ノ際或ハ充分疏通セサリシ廉モ可有之候ニ付御稟請ニ任セ別添説明書及御送付候間御査閱相成度尚ホ支那政府ヨリ我条件ニツキ實際質問ヲ発シ来リタル場合ニ自然本説明ニ基キ解説シ難キ点有之

六 中国輸入税率改正一件 二一一

三三四

ノ義務ヲ有セサルノミナラス日支兩國間貿易ノ現状ニ照シ關稅ノ増額ニヨリ帝國商人ノ負担著數増加シ為ニ彼等ノ蒙ル打撃ハ到底他列國商人ノ受クヘキ影響ノ比ニアラス然レトモ帝國政府ハ兩國善隣ノ好誼ニ鑑ミ特ニ別記ノ条件(註一)以外ノ要求事項(附屬書)ニ依リ支那政府ノ提議ニ同意ス、輸入品カ内國品ノ享受スル待遇ニ均霑ヲ求ムルハ列國通商條約上普通ノ事相ニシテ帝國政府ハ本条件ニ対シ支那政府ニ於テ何等異論ナカルヘキヲ信スルモノナリ尚ホ本条件ニ掲クル輸入品ノ待遇ニ關シ如何ナル場合ニ於テモ外國品カ條約上既に有スル權利ヲ依然持續スヘキハ勿論ナリ

右及訓令候也

追テ別記条件ノ英訳茲ニ及添付候ニ付原文ト併テ支那政府ヘ御提出相成度候

註一 小幡公使館一等書記官ハ當時在京中ナリシガ六月四日任地ニ着シ在中國臨時代理公使トナレリ

2 条件及条件以外ノ要求事項ハ前出閣議決定中ニ記載セラレタル所ト同一ナルニ付省略シ条件ノ英訳文ノミ左ニ掲記ス

(別紙)

候ハハ其都度経伺ノ上御解答相成候様致度此段申進候也

註 小幡臨時代理公使六月八日發電報第四四四号ヲ省略ス該電報ハ六月八日帝國政府ノ回答ヲ中國政府ヘ送達セル旨報告シ尚本件ニ付中國側ヨリ説明ヲ求メ来ル場合ニ備ヘ詳細ナル説明書ノ送付ヲ稟請セルモノナリ

(附屬書)

条件説明

(第一) 目下支那ニ於テ内地工業保護ノ目的ヲ以テ沿岸貿易稅厘金其他一切ノ内地稅ヲ免除スル機械製品ノ數ハ約四十余种ニ達シ居ルニ付我条件ノ目的ハ差向キ輸入綿糸綿布等ヲシテ右厘金稅等ノ免除ニ均霑セシメントスルニアルモ將來或ハ他ノ種類ノ課稅又ハ戻シ稅等ニ關シテモ内國製品ニ対シ何等特典免除ヲ与フルコトナシトモ限ラサルノミナラス右ノ外自然補給利子奨励金保護金等ノ給與其他種々ノ方法ニヨリ或種ノ特權利益ヲ与フルコトモアルヘキヲ以テ現在及ヒ將來ニ於ケル各種課稅上其他一切ノ特權特典利益免除トヲ列記セシ次第ナリ

(第二) 我条件ノ趣意ハ右等ノ特典免除等ニ關シ同種ノ外國輸入品ヲシテ均霑セシムルニアリ則チ均等ノ待遇ヲ求ムルモノニシテ優越ナル取扱ヲ受ケントスルモノニアラス

三三五

故ニ支那ニ於テ若シ一切右様ノ特典ヲ内国品ヨリ奪ヒ若ハ与ヘサルニ於テハ輸入品ハ毫モ之ヲ求メサルコト勿論ナリ
(第三) 万ニ将来支那ニ於テ現行内地間輸出税ヲ減廃スルカ如キコトアラハ外国品ハ内地品トノ競争上不利益ノ地位ニ立ツヘキニ付我条件ノ趣意ハ斯カル場合ハ何等カノ形式ニヨリ外国品ニモ右ニ相当スル利益ノ賦与ヲ要求スルモノナリ

(第四) 如此厘金免除ノ要求ヲナスハ理論上現実五分ノ関税改修ヲ承諾スル代リニ条約上ノ抵代税ノ免除ヲ要求スルコトニ当ルヘキモ實際ハ我輸入綿糸等ニシテ抵代税ヲ支払フモノハ極テ稀ニシテ十中八九ハ厘金ヲ納ムルモノナルニヨリ抵代税云々ノ議論ハ事實問題トシテ關係スルトコロ頻ル輕微ナリ

(第五) 機械製洋式貨物ヲ予メ具体的ニ列挙シ之ヲ他種ノ貨物ト區別スルハ非常ニ煩雜ニシテ且ツ其必要ヲ認メス如此ハ實際問題ノ起ルヲ待チテ後論議シテ可ナリ

(第六) 支那製品ハ輸出税ヲ払テ始テ厘金其他ノ内地税ノ免除ヲ受ク然ルニ輸出税ヲ支払ハサル輸入品ニシテ厘金ノ免除ヲ要求スルハ支那品ト同等ノ取扱ヲ求ムルニ非スシ

附 記 附帯条件等撤回方要求ノ件
右外交総長書翰ノ和訳文

機密第二二三五号

(六月二十四日接受)

大正三年六月十七日

在支那

臨時代理公使 小 幡 酉 吉(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

本件ニ関シテハ本官東京出発ノ際御訓示ト同時ニ受領致候五月廿九日附号外貴信ノ趣旨ニ遵ヒ着任後六月七日曹外交次長ヘ面会ノ序ヲ以テ一応ノ説明ヲ与ヘタル後同月八日附公文ヲ以テ別紙甲号ヲ通り孫外交総長ヘ及照会置候処右ニ対シ六月十六日附公文ヲ以テ同総長ヨリ乙号ヲ通り回答致シ来リ候其要領ヲ略述スレハ

貴国政府カ善隣ノ睦誼ニ鑑ミ支那ノ提議ニ賛同セラレタルハ深く感謝スル所ナルモ来示ノ条件及ヒ条件外ノ要求事項ニ対シテハ同意シ難キ理由アリ即チ

(一) 外国輸入貨物カ其国内ノ貨物ト一律待遇ニ均霑センコトヲ求ムルハ之ヲ各国通商条約ニ徴シ必スシモ已成普通ノ事実ト謂フヲ得スト雖而モ各国カ国内ノ工商情形

テ支那品ヨリモ優越ナル待遇ヲ要求スルモノナリトノ議論自然支那政府側ヨリ出ルコトアルヘキヤノ懸念アル所条件ノ要求スルトコロハ一ニ特典免除ノ問題ニシテ負担ハ問題トナサス而シテ輸出税ヲ云々スルハ負担ノ問題ニ属スルカ故ニ何等案件トナスノ価値ナキモ万一ノ誤解ヲ避クル為メ回答文末段ニ於テ如何ナル場合ニモ外国品ハ条約上有スル權利ヲ持統スヘキ旨附記シタル次第ナリ

(第七) 条件以外ノ要求事項ハ畢竟条約ノ勵行ヲ促スニ外ナラス而シテ本事項ハ要スルニ此機ニ於テ支那政府ニ実行ヲ求ムルモノナルモ敢テ改修以前ニ本要求事項ノ実行ヲ逼ルノ意ニアラス

二二二 六月十七日

在中国小幡臨時代理公使ヨリ
加藤外務大臣宛

中国関税改修問題ニ関スル外交部トノ往復文
写送付ノ件

附屬書一 六月八日小幡臨時代理公使孫外交総長宛書翰

中国関税改修ニ関スル日本政府ノ回答

二 六月十六日孫外交総長宛小幡臨時代理公使宛書翰

ヲ体察シ輸入貨物ニ重税ヲ課シ以テ内国貨物ノ取引ヲ保護スルト共ニ特ニ或種ノ輸入貨物ニ対シ内国貨物同様ノ待遇ヲ与ヘ以テ外国ト同種類ノ利益交換ヲ謀ル事亦固ヨリ少カラス但シ斯ル遣リ方ハ現時ノ支那ト各国トノ通商情形ニ照シ直ニ例トナスニ便ナラサルノミナラス此事タル条約改修ノ事項ニ近シト云フヲ得ヘク条約ニヨリ税則改訂ノ件ヲ提議セルニ対シ任意ニ条件トシテ牽合スヘキモノニアラサルナリ

(二) 商標章程ニ至テハ支那政府ハ現ニ訂定方ヲ実行シ居リ且ツ已ニ在支各国公使ニ照会ニ及ヒタルコトナレハ將來必ス良好ノ結果ヲ収ムルヲ得ヘシト信ス

(三) 輸出入税及ヒ抵代税ヲ納付セル外国貨物ニ対シ各処ノ税局カ誤テ他税ヲ徴収スルコト必スシモ絶無トハ云ヒ難キモ同時ニ外国商カ章程ニ違背セル輸送ヲ為シ罰ヲ受ケタルノ例モ亦時ニ聞知セル所ナリ斯ル偶然發生ノ事項ニ対シテハ悉ク支那各省官憲カ外国領事ト共ニ和平辦理シツアルカ故ニ殊更ラ条件以外ノ要求事項トシテ開列セラルルノ要ナカルヘシ
之ヲ要スルニ現行税則ハ実施後既ニ十年ニ達シ貨物ノ

価値ニ多クノ増減アルニ至リタルヲ以テ切実ニ改修ヲ行フノ要アル次第ニシテ支那政府提議ノ目的ハ各商ノ納税額ト實際ノ約定税率ト符合セシメ而シテ商情ト税課トノ平衡ヲ保タントスルニ在リ故ニ各国政府ハ支那ノ公平ナル提議ニ深ク賛同ノ意ヲ表シ別ニ条件ヲ附セス日支兩國ハ邦交最モ篤キカ上ニ貴国在支ノ商務ハ日ニ益々発達ノ現状ニ在ルコトナレハ本件ニ対シ固ヨリ推誠贊助ヲ快シトセラルルナルヘク各国ヲシテ美名ヲ前ニセラルルカ如キコトハ無之筈ナリ然モ本件ハ純然タル条約上ノ施行事項ニ属シ別ニ条件ヲ附スルノ理ナキ次第ナルカ故ニ来示ノ条件及ヒ附屬要求事項ニ対シテハ支那政府ニ於テ承認シ難キヲ遺憾トス云々

ト云フニ有之大体ニ於テ条件及ヒ要求事項ヲ拒否シタル次第ニ候ヘ共一ツモ具体的ニ反駁ノ理由ヲ明記セス極メテ漠然タル申分ニ付本官ニ於テハ六月八日往電第四四四号ヲ以テ申進シタル説明書ノ御送附ヲ俟チ更ラニ口頭ヲ以テ我方提案ノ趣旨ヲ詳細説明致シ同意ヲ得ルコトニ努ムヘキモ尚ホ本文外交総長ノ回答ニ対シテハ委曲別紙ニテ御査閲ノ上重ネテ同部ヘノ照会振ニ関シ何分ノ儀至急御回訓相成候様

致度此段報告旁申進候也

(附屬書一)

甲号写

六月八日小幡臨時代理公使發孫外交總長宛書

翰

第七〇号

以書翰啓上致候陳者民国元年八月十四日及同二年十月十四日付貴翰ヲ以テ現行輸入税率ヲ現実五分ニ改修シタキ旨ノ御提議ニ対シテハ爾来帝國政府ニ於テ慎重ニ審議考量中ナリシ処今般外務大臣ヨリ別紙ノ通り貴國政府ヘ回答スヘキ旨訓令有之候間右様御承知相成度此段照覆得貴意候 敬具

大正三年六月八日

大日本帝國臨時代理公使 小幡酉吉

支那共和国外交総長 孫宝琦殿

(別紙)

帝國政府ハ今日ノ場合条約上本件ノ商議ニ応スヘキ何等ノ義務ヲ有セサルノミナラス日支兩國間貿易ノ現状ニ照シ関税ノ増額ニヨリ帝國商人ノ負担著敷増加シ為ニ彼等ノ蒙ル打撃ハ到底他列國商人ノ受クヘキ影響ノ比ニアラス然レト

惟

來照所開條件及條件以外之要求事項本部應將未便同意之理由約略言之查各國於輸入外國之貨物求與其國內貨物均沾一律之待遇徵之各國通商條約雖未得謂爲已成普通之事實而各國體察國內工商情形於進口貨物課以極重税率以保護其國內貨物之懋遷而又酌擇某項進口貨物許與內地之貨一律待遇以與外國交換同類之利益者固屬不少但此事按諸現在中國與各國通商情形實未便執以爲例且事近修訂商約更未可於按約提議修改稅則之事任便牽合以爲條件至商標章程中國政府現正實行訂定並已照會駐京各國公使在案將來必有良善之結果又外國商人報運已完進出口正稅及抵代稅之貨物各處稅局或誤向徵收他稅雖未必絕無其事而商人違章輸運致干課罰之事亦復時有所聞似此偶然發生之事實儘可由中國各省官憲與外國領事官和平辦理則是二者更皆無庸列爲條件以外之要求事項而使

貴國政府推誠贊助之盛意轉爲所掄總之現行通商進口稅則實施已屆十年各貨價值多有增減自應再行切實修改而中國政府提議修改之目的亦即欲使各商所納稅額與實際

モ帝國政府ハ兩國善隣ノ好誼ニ鑑ミ特ニ別記ノ條件(條件以外ノ要求事項附屬ス)ニ依リ支那政府ノ提議ニ同意ス、輸入品カ内國品ノ享受スル待遇ニ均霑ヲ求ムルハ列國通商條約上普通ノ事相ニシテ帝國政府ハ本條件ニ対シ支那政府ニ於テ何等異論ナカルヘキヲ信スルモノナリ尚ホ本條件ニ掲クル輸入品ノ待遇ニ関シ如何ナル場合ニ於テモ外國品カ條約上既ニ有スル權利ヲ依然持續スヘキハ勿論ナリ

註 別記ノ條件及要求事項ヲ省略ス前出五月二十八日ノ閣議決定參照尚添附ノ條件英訳文同ジク省略ス

(附屬書二)

乙號寫

六月十六日孫外交總長發小幡臨時代理公使宛

書翰

外交總長孫

爲

照會事中華民國三年六月八日接准

照稱提議現行進口稅則按值百抽五切實修改一事茲奉外務大臣訓令囑將另開各條件復達查照等因查修改稅則一事

貴國政府既鑑於善鄰之誼贊同中國之提議本部實深感謝

之約定税率相符而後商情稅課乃能兩得其平是以曾經派員簽字於該稅則之

各國政府於本部按約提議之公平辦法多已深表贊同並不另附條件矧我中日兩國誼屬同洲邦交最篤而

貴國在華之商務現且日臻發達對於此舉當亦樂於推誠贊助不令各國專美於前豈於此項純係條約上應辦之事而有別提條件之理

來照所開條件及附屬各項本部實屬歛難承認相應照會

貴代理公使查照並煩轉達

貴政府爲盼須至照會者

右 照 會

大日本國欽命代理駐華全權公使小幡

中華民國參年陸月十六日

(附記)

六月十六日孫外交總長發小幡臨時代理公使宛

書翰(乙号)ノ和訳文

以書翰致啓上候陳者現行輸入稅則ヲ現実從價五分ニ改修スルノ提議ニ関シ外務大臣ヨリ別記各条件ヲ以テ回答スヘキ旨訓令アリタル趣中華民國三年六月八日貴翰ヲ以テ御申越

相成致敬承候稅則改修ノ義ニ對シ貴國政府ニ於テ善隣ノ誼ニ鑑ミ支那ノ提議ニ贊同セラレタルハ誠ニ深く感謝スル処ナルカ惟タ貴翰ニ列記スル所ノ条件及条件以外ノ要求事項

ニ對シテハ本部ニ於テ同意スルニ便ナラサルノ理由ヲ茲ニ略述致候查スルニ各國カ外国ニ輸入ノ貨物ニ對シ其國內貨物ト同一ノ待遇ニ均霑スルヲ求ムルハ之ヲ各國通商條約ニ徴スルニ未タ既成普通ノ事実タリト云フヲ得スト雖モ各國ハ國內工商ノ情況ヲ体察シ輸入貨物ニ對シ極重ノ稅率ヲ賦課シ以テ其國內貨物ノ取引ヲ保護スルト共ニ或種ノ輸入貨物ヲ酌損シテ内地貨物ト同一ノ待遇ヲ許与シ以テ外國ト同種類ノ利益ヲ交換スル者固ヨリ少カラス但シ此ノ事ハ之ヲ現在支那ト各國トノ通商情況ニ按スルニ執ツテ以テ例トナスニ便ナラス且ツ其事タル通商條約ヲ修訂スルニ近ク之ヲ以テ條約ニ照シ稅則ノ改修ヲ提議セル事ニ對シ勝手ニ牽付ケテ條件トナスハ猶更不可ナリ、商標章程ニ至リテハ支那政府ニ於テ現ニ訂定ヲ實行シ既ニ在北京各國公使ニ照會シ置キタレハ將來必ス善良ノ結果可有之又外國商人ノ運送スル輪出入稅及抵代稅納付済ノ貨物ニ関シ各處稅局ニ於テ從來或ハ誤ツテ他稅ヲ徵收セルコト未タ必スシモ之レナント

公使ニ及照會候條御查照相成度並ニ貴國政府ヘ右御轉達相煩度此段照會得貴意候 敬具

中華民國三年六月十六日

外交總長 孫

大日本代理公使小幡殿

註 右和訳文ハ日本外務省ニ於テ作成シタリ

二二三 六月十七日

在本邦中国公使ヨリ加藤外務大臣宛

中国關稅改修提議ノ承諾ニ条件ヲ附セザル様

要請ノ件

附記 右書翰和訳文

外甲字第四十號

(六月十七日接受)

敬啓者前接通送第三四號

貴函敬悉一是當已電陳本國政府頃接本國外交部電開小幡代理公使所開承認修改關稅稅則之附帶條件按諸中國現與各國通商情形未便執以爲例且迹近修訂商約與此次按約提議修改稅則之事更難牽合作爲條件至其他非附帶之兩項如商標章程已經制定由外交部照會外交團在案其已完進出口稅及抵代稅之貨物或有重稅之事此係偶然發生之件可由地方官與領事公

允辦理不必藉此列爲條件總之此次提議修改稅則係照條約應辦之事現各國均已覆文照允其間即有另附提議者均經本部駁復現下中日兩國貿易日增邦交益密深望不再因此附有要求方足以表示我兩國格外親睦之意尙希聲請日本帝國政府按約照允不再附帶條件爲禱等因合亟備文聲請即希
允照辦理是感專肅敬頌
時祉

外務大臣男爵 加藤高明閣下

中華民國特命全權公使 陸宗輿(印)

中華民國三年六月十七日

(附記)

在本邦中国公使書翰ノ和訳文

外甲字第四十号訳文

拝啓陳者曩ニ通送第三四号貴翰ニ接シ一切致敬悉候右ハ當時既ニ本國政府ヘ電陳致置候処頃者本國外交部ヨリ電報ニ接シ右ニ依レハ

小幡代理公使ノ申出タル關稅稅則改修承認ノ附帶條件ハ之ヲ現在支那ト各國トノ通商情況ニ按スルニ執ツテ以テ例トナスニ便ナラス且ツ右ハ通商條約ヲ改正スルカ如キ

外務大臣男爵 加藤高明閣下

註 右和訳文ハ日本外務省ニ於テ作成セリ

二二四 六月十九日

在中国小幡臨時代理公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

中国關稅改修ノ我方條件ニ関シ孫外交總長ニ
説明並露仏両國ノ附帶條件ニ付同總長ノ談話
報告ノ件

附記 黒沢蘇州税関長ヨリ瀬川外務省文書課長宛書簡

拔萃写

第四七三号

六月十九日本官別用ヲ以テ孫外交總長ヲ訪問ノ節關稅改修問題ニ談及シ(我方要求條件ハ全部不同意ノ旨六月十六日附同部ヨリ回答アリ六月十八日郵報シ置キタリ)本件ニ付帝國政府力特ニ條件ヲ附シタル理由ハ帝國對支貿易力特殊ノ地位ニアルニ鑑ミ他國ト一律ニ論シ難ク殊ニ其内容ニ至リテハ素ヨリ当然ノコトニ属シ且既ニ支那内地製造品力受クル以外何等優越ノ待遇ヲ希望スト云フニアラス至当ノ要求ヲ提議セルニ過キサル旨一応説明ヲ与ヘタル上貴部ヨリ接手セル書翰ニ就テハ追テ政府ヨリ回答アリ次第更ニ何分

六 中国輸入税率改正一件 二二四

形跡ト相成今回條約ニ照ラシ稅則改修ヲ提議セルコトニ對シテハ猶更之ヲ以テ條件ト爲シ難ク其他附帶ナラサル兩項ニ至リテハ商標章程ノ如キ既ニ制定ノ上外交部ヨリ外交團ニ照會シ置キタル処ニ係リ又輸出入稅及抵代稅納付濟ノ貨物ニ関シ或ハ重稅ノ事アランモ此ハ偶然發生ノ出来事ニシテ地方官ト領事トニ於テ公平ニ辦理スルコトヲ得ヘク必スシモ之ヲ以テ條件トナスノ要ナク要スルニ今回ノ稅則改修提議ハ條約ニ照シ応ニ行フヘキ処ニシテ現ニ各國ヨリ均シク既ニ承諾ノ旨回答シ来リ其間別ニ提議ヲ附シタルモノアルモ右ハ均シク本部ニ於テ既ニ弁駁回答シ置ケリ目下日支兩國ノ貿易日ニ増シ邦交益々密ナルヲ以テ再ヒ之ニ因テ要求ヲ附帶セシメスシテ我兩國特別親睦ノ意ヲ我ニ表示サレンコトヲ深く望ムニ付日本帝國政府ニ對シ條約ニ按シ再ヒ條件ヲ附帶セスシテ承諾セラレンコトヲ請ハレタシ

トノ趣ニ有之候ニ付茲ニ書翰ヲ以テ及御照會候条右ニ照シ御處理相成候様致希望候此段得貴意候 敬具

中華民國三年六月十七日

中華民國特命全權公使 陸宗輿

ノ照覆ヲナスヘキヲ約シ同時ニ本件ニ関シ帝國政府以外露仏兩國ヨリモ何等カ條件ヲ提出シタリトノコトナルカ如何ナル内容ナリヤト質問シタルニ孫ハ暫ク躊躇シタル後貴官限り内容ヲ話スヘシトテ仏國ヨリノ條件ハ革命損害賠償問題ヲ満足ニ解決スヘキコト露國ヨリノ條件ハ三ヶ条ニテ(一)陸路貿易ノ稅率ヲ從前ノ通り据ヘ置クコト(二)上海ヨリ浦塩ヘ輸入シ同地ヨリ陸路北滿ニ運搬セラルル貨物ハ再輸入トシテ之ヲ扱ヒ普通輸入稅ヲ課セサルコト(三)北滿ニ於ケル稅率改訂事項等ニシテ(一)ニ就テハ露國ハ大連ノ例ヲ引キ頻リニ主張セシモ大連ハ租借地ニシテ浦塩ハ露國ノ領土ナリ全然事情ヲ異ニスト答ヘ他ノ條件ト共ニ仏國同様絶對ニ承諾シ難キ旨既ニ回答ヲ發シ置ケリト云ヒ其後兩國公使ヨリ重テ何等申越アリシヤトノ本官ノ問ニ對シ孫ハ何等申越ニ接セスト答ヘタリ露國ノ條件中聊カ解シ難キ節ナキニアラサルモ聞取りノ儘不取敢御參考ノ為電報ス

(附記)

蘇州税関長黒沢礼吉氏ヨリ瀬川文書課長宛来
簡拔萃

(大正三年六月接受)

(前略) 関税改正問題に關しアグレン氏の特殊の位置と同情とを善用し度考居候此外関税改正問題に關し種々愚見も有之候か或は其内に東京に於て御清聴に達する機あることかと思居候日英のアンダースタンディングさへ付けは例へ日本か承諾しても實際交渉の時に至りいくらても我国に有利に解決出来得ることと確信し居候併し其如何にしてかは支那税関制度及其實際の運用を親しく其衝に當り知り居る人ならては或は容易に明瞭ならざるかとも考居候小生は此点に就き是非賢台始め其他諸先輩にも愚見を述べ度考居候而して其実行には日英同盟か必要に候関税改正は支那側より云へば関税額を増し隨て支那の財政信用を高むるとの事に候も今之を彼等の云ふ通りに実行せは其結果は單に支那条約港其他各地に興りつゝある外国品模造業者を奨励し遂に数年の内には外国貿易の大半を駆逐するに至ることは明瞭に候我々内側の事情を知り居るものには其手段方法甚た巧妙にして是こそ実に尤も恐るべき排外的意味を有するものの様に思はれ候而して差當り其打撃を尤も手痛く受るは我貿易業者別して紡績業に候も早晚英國始め諸列国も同様の運命に陥る事と信し居候此理さへ明になれば英國始め支那

て小生の愚見の実行は如何に我貿易業か騒くも日英同盟を利用する外ダメに候云々

二一五 七月七日

加藤外務大臣ヨリ
在中国小幡臨時代理公使宛

中国関税改修ノ我方条件ニ関スル中国外交部
ノ書翰ニ対シ取急ギ覆答ノ要無キ旨回訓ノ件

通機密送第二〇五号

支那関税改修問題ニ関スル件

本件ニ関スル外交部トノ往復文書写相添去月十七日附機密第二三五号ヲ以テ御稟申ノ趣了承然ル処同信末段ニ於テ貴官ハ当方ヨリノ説明書到来ヲ俟ツテ更ニ我提案ノ趣旨ヲ詳細説明シ同意ヲ得ルコトニ努ムヘキ旨御申越相成候処申ス迄モナク本件ニ関シ他ノ同意ヲ求ムルハ支那政府ニシテ当方ハ何等支那政府ノ同意ヲ求ムル位地ニ居ル次第ニハ無之候ニ付貴官ニ於テハ單ニ先方ヲシテ我条件ノ趣旨ヲ充分ニ了解セシムル為詳細説明ヲ与フルニ止メラルル様致度尚ホ露仏等ニ於テモ該二国ノ条件ニ関スル支那政府ノ回答ニ対シ何等覆答ヲナササル趣ニ付旁当方ニ於テモ必シモ取急キ覆答スルノ要ヲ認メサル次第第二有之候間右様御含置相成度

六 中国輸入税率改正二件 二一五 二一六

に密切なる通商關係を有する諸国も徒らに賛成を表せず何とか共同的方法を講ずるこそ必要かと愚考致候少くとも尤も甚大なる關係を有する日英兩國か何かのアンダースタンディングを作り関税改正なる美名の下に潛み居る恐るべき國際的禍根を未然に防く方法を取られ度ものと考居候尚小生は此問題を深く研究し居り種々意見も有之候もそは他日に譲り申へく候支那に於ける外国貿易の發達し来りしは税関制度の英國式にして寛大自由にして税率の低きに依る是れ実にハート翁の賜物に候然るに今之を緊縮し税率を高めんか外国貿易は非常の打撃を受け或特殊の貨物の外は輸入杜絶するに至るべく候所謂牛の角を矯めんとして牛を殺すものに候故よしや関税を改正するにしても斯る自殺的惡結果を來たさぬ様にする事が大事と考居候諸列国は自国の貿易を犠牲にしても支那政府を援助する決心にや疑はしく候支那内地に於て製造されつゝある外国模造品か条約によりて保証されたる外国品と同等或はそれ以上の取扱を受けつゝあるに非らずや一方には斯る奨励法あり今又関税改正の名の下に税率を高めんとす其結果の如何は唯我紡績業のみに非らず候斯く論し来れば外国人も案外近視者に候而し

此段為念申進候也

二一六 七月九日

大日本紡績聯合会山辺委員長ヨリ
加藤外務大臣宛

中国関税改修ノ機会ニ中国ノ米及雜穀ノ輸出
解禁交渉方請願ノ件

附 記

大日本紡績聯合会山辺委員長ヨリ加藤外務大臣宛提出ノ「支那関税問題ニ対スル要望事項」

請願書

我政府当局ハ今回支那関税改修問題ニ関シ我国對支貿易ノ実情ニ鑑ミ或ル条件ヲ附シ之レガ認容方御回答相成候趣昨今新紙ノ報スル所ニ御座候処我々紡織業者ハコノ好機會ヲ以テ更ラニ支那ニ於ケル米及雜穀ノ輸出解禁ノ儀御交渉相成候様致度冀望スル所ニ御座候防穀令ノ撤廃カ沃野千万里ヲ有スル同国々民ノ利福ヲ増進スルノミナラズ我国民亦其供給ヲ受ケ凶荒万一ノ患ヲ祛スルヲ得ベク且ツ万般ノ物資ニ付日支貿易ノ伸長ヲ期スルニ於テ最モ緊要ノ儀ト存候間曩キニ提出仕候支那関税改修ニ関スル要望事項^(註)ニ之ヲ追加シ特ニ閣下ノ御清鑒ヲ奉仰候

右及請願候也

三四五

大正三年七月九日

大日本紡績聯合会

委員長 山辺丈夫(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

註 「支那関税改修ニ関スル要望事項」左ニ附記ス

(附記)

支那関税問題ニ対スル要望事項

一、支那政府ヨリ提議セル同国輸入税率改修ハ条約期間中ニ付絶対ニ拒否セラレタキコト

理由

支那関税改修ノ認容ハ我国對支貿易ヲ阻碍シ本邦紡織事業ノ盛衰ヲ將來スル大問題ニシテ現行日支通商条約期限ハ大正五年十月ナレバ尚武ケ年余ノ期間ヲ有スルヲ以テ此際ハ断然峻拒セラレタシ

二、綿糸布輸入税ハ特ニ現行標準価格ヲ其儘協定セラレタキコト

理由

本邦輸出品ノ大宗タル綿糸綿布ノ如キ我国ニ於ケル主要産業ニ對シ其基礎ヲ危スルノ虞アレバ特種税目協定

ヲ為スニアラザレバ支那内地ニ有力ナル競争者アルガ故関税改修ノ結果全ク其輸入ヲ杜絶セラルルニ至ラン又一九〇二年改修以來本邦綿糸布価格ハ漸騰ノ趨勢ニアルモ現下ノ形勢ヨリ推算セバ現行税率以下ニ低落ノ日アルモ難図ガ故ナリ

三、万一認容セラルルニ於テハ支那製綿糸布ニ對シ外国綿糸布輸入税以上ノ内地製造税ヲ賦課シコレガ徵税ハ海關ニ於テ勵行セシメラレタキコト

理由

支那政府ノ実情ニ鑑ミ善隣ノ交誼上万一拒絕難出来ニ於テハ我国綿糸布ノ輸入ヲ阻碍セサル様輸入税ニ相当スル程度以上ノ内地製造税ヲ賦課セシムルハ英清条約第八条九項ノ主趣ニ基クモノニシテ我国ノ当然主張スベキ權利ナリト謂ハサルベカラズ

四、内地製造税ハ上海ノ如キ治外法權ノ場所ニハ實施難アリトスレバ支那輸移出税ヲ改修シ輸入税ト同率ニナシ併セテ鐵道ニ依リ又ハ内地ニ運搬移出セラルル場合ニ於テモ海關ニ於テ移出税ヲ徵收セシメラレタキコト

理由

第八条第九項中

清国ニテ機械製造ノ綿糸又ハ綿布ニ對スル製造税ハ海關ニ於テ之ヲ徵收シ右税金ヲ納入シタル上ハ輸出税、輸出附加税、沿岸貿易税並ニ銷場税ヲ賦課セラルコトナシ

則チ支那産業保護ノ主趣ニ基キ利益的ニ曲解セラレタルモノナレバ本邦綿糸布ニ對シテモ同様取扱ハシメラレタキコト

六、支那棉花輸入税率ハ綿糸輸入税率ト同程度ニ改修セラレタキコト

理由

棉花輸入税率ノ輕重ハ彼我紡績綿糸ノ輸贏ニ関スルヲ以テ綿糸輸入税率ヲ改正セバ当然棉花輸入税率モ改修セラルベキ筈ナレトモ産業保護ノ理由ニテ標準價格ニ於テ手心ヲ為シ或ハ現状維持ニ了ラバ競争上我国綿糸ハ勢ヒ不利ナルヲ以テナリ

七、関税改修ノ為メ標準率ヲ改算協定セラルルニ至ラバ其標準ハ綿糸布共支那海關統計ニ依リ算出セラルベキ價格ヲ基礎トセラレタキコト

五、特許ヲ受ケタル支那製綿糸布ハ輸移出税ヲ支払ヘバ釐金其他一切ノ内地税ヲ免除セラルルヲ以テ我国綿糸布ニ對シテモ同様取扱ハシメラレタキコト

理由

千九百八年十月廿四日北京稅務所ノ各海關ニ發セル通牒
機械ヲ以テ製造セラレタル外国風ノ貨物ハ之ヲ他港ニ輸出スル場合ニ臨ミ単ニ輸出税トシテ五分ヲ支払ヘバ到着港ニ於テ從來賦課シ来リタル半税ヲ廢止シ之ヲ内地ヘ搬入スル場合ニハ釐捐其他一切ノ内地税ヲ免除スベシ

右ノ特權ハ特許ヲ得タル支那製品ニ適用セラルルモノニシテ英清改訂条約

六 中国輸入税率改正一件 二一七

理由

支那海關統計ハ上海ニ於ケル市価及本邦税關統計價格及内地市価ニ比シ著シク低位ニアリコハ本邦綿糸布ハ支那海關ニ輸入申告ヲ為ス本邦其他商人ノ習慣上安ク申告セルニ基因スルガ為メニシテ本邦綿糸布ニ対シテハ特ニ有利ナリ

八、綿糸ハ二十手以下、二十一手以上、四十二手以上ノ三種ニ區別シ税率ヲ協定セラレタキコト

理由

本邦綿糸ノ支那輸入高ノ九割ハ二十手以下ナレバ種別税率ヲ協定シ精粗品ヲ區別セシメラレタキコト

九、綿布輸入税表中金巾及シーチング税率ノ分類ニ対シテハ十四封度ヲ境トシテ區別セラルル様改修セシメラレタキコト

理由

我國輸出綿布中數量及價格ニ於テ最多額ヲ占メ其八割強ハ十一封度以上十四封度以下ノ物ナレバコノ改修ハ最モ緊要事ナリ

十、綿製品ニシテ従価税率ノ適用ヲ受ケツツアルモノニ対

大正三年十二月十五日

在支那

臨時代理公使 小 幡 西 吉(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

外交総長ヨリ十二月十二日附公文ヲ以テ現行輸入税則改修ノ儀ニ関シテハ本部ハ本年六月八日附貴代理公使ノ照會ニ対シ委曲復答ニ及ヒ置キタル次第ノ処支那政府ニ於テハ本件力速ニ実行セラレンコトヲ希望シ居リ貴國政府ニ於テモ亦前議ヲ固持シ条約上当然行ヒ得ヘキ事項ヲ久シク未決ノ情態ニ置クカ如キハ欲セラレサル所ナルヘク且本件実行ノ上ハ各國債權ノ担保ニ就テモ一層有利トナル次第ニテ独リ支那財政ノ為メニノミ打算スル訳ニアラス因テ速ニ貴代理公使ヨリ政府ヘ轉達シ本年六月十六日附本部ノ答覆通り速ニ無条件ニテ同意アラムコトヲ望ム旨別紙寫之通り照會致シ来リ候右ニ就テハ本年七月七日附通機密送第二〇五号貴信末段御来示之次第モ有之候ニ付何等回答ヲ与ヘス其儘及稟報候間御詮議ノ上何分ノ儀御回訓相成候様致度將又露仏伊等ノ三国ヨリ支那側ヘ提出セシ条件ニ付テハ其後如何ノ成行ト相成居候ヤ其内夫々相確メタル上追報可致候左様御

六 中国輸入税率改正一件 二一七

三四八

シテハ可成有利ナル従量税率ヲ協定セラレタキコト

理由

綿製浴巾綿莫大小等其他綿製品ニシテ従価税五分ヲ課セラレ評價ニ付紛擾ヲ来シ不便尠ナカラザルモノアレバ関税改修ニ際シテハ充分注意ノ上従量税率ヲ協定セラレタシ

以上

大正三年六月

大日本紡績聯合会

委員長 山辺丈夫(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

註 右ハ七月一日通商局ニ於テ之ヲ接受セリ

二一七 十二月十五日

在中国小幡臨時代理公使ヨリ
加藤外務大臣宛

中国関税改修問題ニ関シ外交部ヨリ無条件同

意方重ネテ要請ノ件

附屬書

十二月十二日孫外交総長ヨリ小幡臨時代理公使宛公文写 右照會

機密第五三〇号

(十二月二十一日接受)

承知置相成度此段報告申進候也

(附屬書)

十二月十二日孫外交総長ヨリ小幡臨時代理公

使宛公文写

照 會

外交 總 長 孫

爲

照會事案査現行進口税則施行期滿應按值百抽五切實修改一事本年六月八日接准

貴代理公使來文當經本部詳細解釋照復在案現在中國政府對於此事極盼早日實行諒

貴國政府亦不欲堅持前議致按約應辦之事久延未辦此事實行於各國債權擔保更爲有益固不特爲本國財政計諒

貴代使必表同意茲特備文照會

貴代理公使査照即煩轉請

貴政府査照本年六月十六日日本部去文早日無條件復允照辦至初睦誼須至照會者

右 照 會

大日本國欽命代理駐華全權公使小幡

中華民國三年十二月十二日

三四九

六 中国輸入税率改正一件 二一八

二一八 十二月二十九日 加藤外務大臣ヨリ
在中国日置公使宛

中国政府ノ関税無条件改修ノ要請ニ対スル措

置振回訓ノ件

通機密送第四一六号

本件ニ関シ今回重ネテ外交総長ヨリ無条件ニテ同意ヲ望ム
旨照会越タル趣本月十五日附機密第五三〇号貴信ヲ以テ御
報告相成リ了承支那関税改修ニ対スル当方提案ハ我貿易関

三五〇

係ニ及ボス影響ヲ慎重打算シタル外支那側ノ立場ヲモ十分
考量ニ入レタル上双方ニ取り最モ利便ト認メタル結果提示
セル条件ニシテ之ヲ撤回スル如キハ当方ニ於テハ到底応諾
スル不能所ニ有之候間今後先方ヨリ本件ニ関シ更ニ回答ヲ
求メ来リ候場合ニハ右ノ趣旨ヲ以テ可然御応酬相成度此段
及回訓候也

事項七 中国鉱業条例ニ関スル件

附 桃冲鉄山ト鉄鉱国有問題

二一九 三月二日 在奉天落合総領事ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

中国ノ鉱業条例改正ノ場合速カニ南滿東蒙鉱
山ノ先願權取得方ニ関シ山座公使ヨリ稟申ノ
件

第三四号

北京発三月一日第二〇号

第一八一号

二月廿七日小田切カ農商部鉱政局長楊廷棟ヨリ聞ク所ニ拠
レハ支那政府ハ今般鉱業条例ヲ改正シ外国人ト合資合弁ニ
便利ナル様例ヘハ外人出資額ノ限度ヲ二分ノ一迄トシ且ツ
支那側ノ二分ソ一モ株券ヲ無記名式トシ以テ外国人ノ所有
ニ差支ナキコトトナス等余程「リベラル」ナル規定ヲ設ク
ルコトニ閣議決定シ不遠公布スル筈ナル由ナリ
然ルニ落合往電ニテ御承知アルヘキ通り奉天借款交渉ノ模
様ニテハ今回ノ借款纏マルトモ鉱業ニ関スル利権ヲ全然我

ニ收ムルコトハ頗ル困難ナラント思ハル、ニ付此際南滿東
蒙ノ有望ナル鉱山ニ対シテハ關係筋トモ御協議ノ上右条令
發布後速カニ出願シ先願權ヲ占メ置クコト必要ナラント思
料ス

二二〇 三月三日 在奉天落合総領事ヨリ
牧野外務大臣宛(電報)

近ク發布セラルル鉱業条例ト外国人ノ治外法
權トノ關係ニ付北京外交団ノ意向問合ノ件

第三六号

三月三日北京ヘ左ノ通

第一二号

貴電第二〇号ニ関シ当地方ニ於テ鉱山ニ関スル日支合弁ヲ
企テ居ルモノ多ク中ニハ当地支那官憲ヨリ北京政府ヘ認可
申請中ノモノアリ然ルニ北京政府ハ現行鉱務章程ニ照シ当
該關係者カ同章程ヲ切実ニ遵守スル旨日本領事ヨリ公文ヲ
以テ保証スルコトヲ要求シ来ル由ノ処右ハ畢竟当該事業ニ